令和5年度事業報告

社会福祉法人緑樹会

一目次一

◆法人本部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	01
◆総合福祉センター緑樹苑	
*介護老人福祉施設緑樹苑	
・介護老人福祉施設緑樹苑・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
・緑樹苑短期入所(ショートステイ)・・・・・・・・・・	18
・緑樹苑給食センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
*在宅サービスセンター	
・緑樹苑デイサービスセンター・・・・・・・・・・・・	29
・緑樹苑居宅サービス事業所(訪問介護・障害福祉)・・・・・	38
・緑樹苑居宅介護支援事業所・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	46
・沖縄市地域包括支援センター西部北・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	54
・みどり学童クラブ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	62
◆ケアハウスはいびすかす・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	70
◆ケアハウスていんさぐめ花・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	81

法人本部 事業報告

1. 総括

感染対策委員会方針に沿って、感染対策委員会を隔週開催し、各事業所における感染状況 や感染者発生時の対応等を共有した。

今年度から新たに策定したアクションプラン 2027 に基づき、中期収支計画、人材育成・ 確保、生産性の向上に向けて各実施項目に取り組んだ。また、各施設長等へアクションプラ ンの理解と確実な実施を必要に応じて都度説明を行い、各職員への周知徹底を促した。

任期満了に伴い理事の選任を行ったほか、評議員選任解任委員及び評議員の欠員に伴い、 早急に評議員選任解任委員の選任、評議員選任委員会の開催により評議員を選任した。 前年度に引き続き、光熱費等の価格高騰を受けた物価高騰支援補助金を申請した。

2. 運営状況

新型コロナによる収支への影響は少なかったものの、各事業において様々な要因(看取り対応の増加等)によるサービス終了があり、伴う空床期間の増加や満床に至っていない状況が継続し、年度を通して稼働率が安定しなかった。コロナ体制維持や物価高騰支援等の関連補助金取得によって財源を確保し、結果的に前年度並みの収入となった。支出においては職員離職等により予定の職員配置ができない状況が継続した為、人件費予算が縮小された。これらの要因により事業収支差額を確保し、総合福祉センター建替基本構想に基づく、施設整備積立金は目標額を上回る積立額となった。

理事会・評議員会の開催等については、集合とオンラインの同時開催の他、近隣地域における感染状況等を鑑み、決議の省略による開催を実施した。

3. 事業状況

(1) 人材確保事業

①県内外の各学校へ求人票の送付

ハローワークへ新卒者(高卒・大卒等)の求人を行い、沖縄県内の各高等学校へ求人票を送付。1件問い合わせはあったものの応募に至らず、新卒者の採用は無かった。

②合同企業説明会及び就職説明会への参加

沖縄県や沖縄市が主催する介護職説明会への参加のほか、各関係機関が主催する合同 企業説明会や新卒者向け企業説明会等に参加し求人活動を行った。また、ハローワーク主 催のセミナーに参加し、求職者への説明会を実施したほか、ハローワーク沖縄と協同で 「介護助手」の仕事説明会を企画し、説明会を実施。3名の採用に繋がった。

③リクルートページの活用

ホームページ及びリクルート専用ページを活用し、介護職及び各職種の求人を掲載。キャッチコピーや福利厚生など自社PRの訴求を図った。また、求人マッチングサービスに

掲載し、登録求職者へ直接アプローチするスカウト機能により施設見学などを実施。介護 福祉士1名の採用に繋がった。

④採用活動会議

定期的に採用活動会議を行い、求人状況の確認、今後取り組むべき採用活動内容を検討し情報共有するとともに、採用者・離職者からの聞き取りや、既存介護職員へアンケートによる満足度調査を実施し、現状の不満や改善点などの意見を収集。業務改善への反映を図った。

⑤その他

ハローワークによる紹介や、求人誌、WEB広告による求人を実施し、職員採用の促進を図った。また、有料人材紹介サービスの利用により4名の職員を採用した。

(2) 設備整備事業

- ①設備整備積立金の確保
- ・35,000,000 円の目標積立額に対し、36,500,000 円の設備整備積立金を積み立てた。

(3) 職員研修事業

①事務局職員研修

事務局各職員が、業界団体が主催する労務に関するセミナーや財務会計に関する研修等の受講、全国社会福祉法人経営者大会(兵庫大会)への参加など、専門知識の研鑽を図るとともに、法改正(雇用・労働関連法、インボイス制度や電子帳簿保存法等)に伴う対応を学んだほか、介護に関する知識やコンプライアンス、接遇等に関する研修を受講した。また、デイサービスと合同で、AED 及び救急救命実践研修を実施した。

②マネジメントと職員意識の向上に向けた研修・勉強会

・各施設長等を対象に、各事業の収支実績の確認、収支に対する基本理解、今後における各事業の収支上の課題等をテーマとして毎月実施した。

③研修委員会の開催

課長等会議を通じて研修委員会を開催。キャリアパスに基づく研修内容の検討や進捗 状況の確認を行ったほか、今後、義務化・必須となる運営基準に則した研修等に関する取 り組みを実施。また、それに伴い、研修の実施体制について見直しを図り、次年度に向け て各部署で実施する研修体制を構築し、令和6年度研修計画を策定した。

④介護福祉士実務者研修の実施

実務者研修実施事業者と調整のうえ、スクーリング学習を法人施設内で実施。令和5年度は4名が受講し修了した。(その後、受講した4名は介護福祉士国家試験に合格)

⑤本部役職員研修

	研修・セミナー内容	参加者
4月6日	次世代の介護事業に必要な経営マネジメント	事務局長
5月25日	介護経営の新常識 介護ロボット活用で2人介助を「ゼロ」 へ(排泄介助)	事務局長
6月5日	社会福祉法人監査セミナー	事務局長
6月12日	令和6年度介護保険制度改正・改定を見据えた課題~介護	理事長
	の質の向上のための科学的介護をどう考えていくか~	事務局長
8月31日	特養建替えの不安を取り除きたい特養事業の経営者様へ	常務
10月30日	沖縄県特定技能1号外国人のマッチング支援事業セミナー	事務局長
12月21日	人件費の適正化と職員の満足度向上	事務局長
12月26日	介護職員賃上げ6,000円対応丸わかりセミナー	事務局長
1月26日	全国介護ロボットフォーラム「介護現場における生産性の 向上」「テクノロジー活用した介護現場の生産性の向上の 実践」	事務局長
2月6日	介護・医療・障害トリプル改定の全容と対策	常務
		事務局長
3月12日	徹底解説 医療/介護のダブル報酬改定セミナー	事務局長

(4) 広報事業

①竹とんぼ発行

各施設での行事や利用者の活動の様子などの紹介のほか、職員の取り組みや法人の公開・公表情報を掲載し、毎月(264号から275号)発行を継続。利用者家族や地域、関係機関へ発信した。後援会や家族会活動の休止に伴い、発行部数を1000部から700部に縮小した。

②ホームページによる情報の発信

法人及び各施設・事業所の紹介とともに、法令等の情報開示に基づき、現況報告書をは じめ事業報告や決算報告などの各種公開情報を公表・掲載するとともに、求人情報の発信 や広報誌(「竹とんぼ」及び「ぬちぐすい新聞」)を掲載、発信した。

③地域ネットワークを活用した広報活動

・アクションプラン推進を含む他実施業務を優先した為、包括支援センターと連携した広報 活動は実施できなかった。

(5) 主催行事及び地域における公益的な取組みの推進

地域における公益的な取組み

①デイサービス利用者食事無料サービス

·提供食数:7,699 食

②包括センター主催等による地域住民の会議場所の提供

提供回数:41回

③介護福祉士実務者研修講義教室の提供

5月から10月にかけて講義教室を提供した。近隣地域事業所からの応募は無く、自法人職員のみの参加となった。

· 提供回数: 7回

(6) 法人本部運営事務事業

①キャリアパス制度の構築

法人キャリアパスの目的及び内容を、年度を通して各管理者に周知し、キャリアパスに基づいた人事考課による適切な評価実施の徹底を図った。また構築段階において必要な各人事考課者の評価内容調整や共通認識の整理を図った。

②法人事業財務分析及び収支マネジメント

法人における決算計算書の財務分析(経営協)を行い、収益性、資金繰り、短気安定性、 長期持続性等の数値はいずれも全国指標の中央値に対し、良好な経営状況であった。

各事業の収支マネジメントについては、今年度の収支到達見込みの確認を行うと共に、前3期分の収支と稼働率のデータを基に次年度に向けた報酬改定と稼働率管理を踏まえた収支目標のヒアリングを行った。

指標		全国中央値	緑樹会
収益性	サービス活動増減差額率	0.86%	4. 18%
4.2 金工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	経常増減差額率	1. 24%	4. 96%
資金繰り	事業活動資金収支差額率	5.4%	10.68%
短期安定性	流動比率	368.7%	404. 42%
長期持続性	固定長期適合率	86.4%	84. 82%

サービス活動増減	法人の主とする事業での収益性を示す。値はプラスであることが必
差額率	要。
公学说法关 框本	サービス活動収益に対する経常利益の割合を示す。値はプラスであ
経常増減差額率	ることが必要。
事業活動資金収支	当年度の事業活動による資金収入と資金支出のバランスを示し、資

差額率	金の獲得能力を表す。値はプラスであることを要する。
达新	短期支払い義務に対する支払能力を示す。値が高いほど、短気的な
流動比率 	支払能力が高いことを意味し、200%以上であることが望ましい。
固定長期適合率	固定資産の整備に関わる資金調達のバランスを示す。値は 100%以
回化区别週行学	下であることが判定の目安となる。

③介護機器及び介護ソフト導入サポート

生産性の向上に向け、記録業務や他介護機器との連携に特化した新しい介護ソフトの導入スケジュールを作成し、各事業においてソフトのデモンストレーションを行った。

また各部署より介護機器 ICT 導入推進職員を選任し、導入推進会議(生産性向上委員会) を開催し、各部署の課題の把握、解決に繋がる機器の選定、視察、デモ等を行った。

	会議・デモ・視察	参加
7月10日~7月12日	介護機器 ICT 導入推進会議	本部・各部署(個別)
7月21日	移乗機器デモ実施	本部・各部署 (集合)
8月21日	介護機器 ICT 導入推進会議	本部・特養(個別)
8月28日	介護機器 ICT 導入推進会議	本部・各部署 (特養以外集合)
9月27日~9月29日	国際福祉機器展視察	本部・各部署 (集合)
10月9日~10月13日	介護機器 ICT 導入推進会議	本部・各部署(個別)
11月6日~11月30日	移乗機器デモ実施	本部・各部署 (個別)

④PDCAサイクルによる計画的な事業運営

・幹部会議において、各事業計画のPDCAを実施。達成状況を確認し、計画的な事業運営 に努めた。

⑤事務局体制の機能強化

事務局員1名の退職に伴い、改めて業務内容の整理及び業務分担の体制の見直しを図るとともに、各々がフォローできる体制を構築し、各部署と連携を図りながら事務業務の負担軽減に取り組んだ。また、法改正(インボイス制度・電子帳簿保存法等)に伴う対応の強化を図り、取引先や関係機関と調整のうえ業務フローの構築を図った。

⑥各種委員会及び会議の運営

<第三者委員の開催>

開催予定時期における新型コロナウイルス感染余波等による拡大防止の為、第三者委員会の開催を中止とした。

<安全衛生委員会>

職員の安全衛生管理及び災害の未然防止と、職場環境の改善、職員の健康・衛生の保持増進を推進し、円滑に職務の遂行ができるよう下記のテーマについて開催した。また、各事業所の巡視等を行い、安全衛生の観点からのチェックにより改善を促した。

開催月	テーマ	参加者
4月	衛生委員会について	8名
5月	ストレスチェック実施について/はいびすかす巡視	8名
6月	労基署巡視後の改善事項について	7名
7月	ストレスチェック結果報告について	5名
8月	ストレスチェック集団分析結果の見方について	8名
9月	有休消化について	8名
10 月	ケアハウスてぃんさぐぬ花巡視	8名
11 月	腰痛予防対策について	7名
12 月	特別養護老人ホーム緑樹苑巡視	8名
1月	働きやすい職場環境について/次年度審議事項(案)に	8名
1 月	ついて	0泊
2月	労災について/デイサービス巡視	8名
3月	健康診断・人間ドック受診について/次年度計画決定	7名

<幹部会議><感染症対策委員会>

・開催日:毎月(第1・3・5金曜日)及び適時

・開催数:23回

・内容:アクションプランの周知、各施設・事業所等の情報共有、業務の課題等の審議、 具体的な方策など、事業経営全般にわたる検討、協議、事業実施の決議などの他、 感染対策委員会として新型コロナウイルスへの感染対策、各施設の情報共有、法 人内施設発生時の対応等について協議を行った。

<施設長等会議>

今年度における収支到達見込みの確認を踏まえた賞与率、昇給、人事の検討などを実施。 幹部会議を施設長等会議に切り替えて都度開催した。

<課長等会議><研修委員会>

・開催日:毎月第2・第4金曜日

開催回数:10回

・内 容: 新型コロナの対応や現場対応等業務上の都合により定期開催できない時期があった。主に法人全体の業務に係る情報共有や改善事項を検討し、課題解決に向け

て意見交換及び幹部会議への提起のほか、制度改定等に伴う勉強会を実施した。 また、研修委員会として各部署で実施する研修の内容及び体制の検討、研修計画 の策定を行った。

(7) 役員会等の開催

<法人監査>

·開催日時:令和5年5月15日

・監 事: 宜野座哲監事、山城真仁監事 ・内 容: 令和4年度事業及び会計監査

<定時評議員会>

①第1回評議員会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、決議の省略により実施。

・決議の省略提案日:令和5年6月12日

・議案内容:令和4年度計算書類及び財産目録の承認について

社会福祉充実計画の変更(案)について

次期役員の選任(案)について

役員等の報酬・費用弁償及び謝礼金に関する規程の改定(案)について

<評議員選任解任委員会>

· 開催日時: 令和5年10月16日

・議案内容:補欠評議員の選任(案)について

<理事会>

①第1回理事会

·開催日時:令和5年6月2日

・議案内容:令和4年度事業報告及び決算の承認について

監事監査報告

社会福祉充実計画に変更案について

次期役員候補者の推薦(案)について

役員等の報酬・費用弁償及び謝礼金に関する規程の改定(案)について

令和5年度定時評議員会の招集について

②第2回理事会

・決議の省略提案日:令和5年6月23日

・議案内容:理事長の選定について

常務理事(業務執行理事)の選定について

③第3回理事会

·開催日時:令和5年9月15日

・議案内容:令和5年度第一次補正予算(案)について

評議員選任・解任委員会 補欠委員の選任 (案) について

補欠評議員候補者の推薦(案)について

④第4回理事会

· 開催日時: 令和5年12月22日

・議案内容:令和5年度第二次補正予算(案)について

⑤第5回理事会

·開催日時:令和6年3月11日

・議案内容:令和5年度第三次補正予算(案)について

令和6年度事業計画書(案)の承認について

目的積立金の取り崩し及び目的外使用(案)について

令和6年度収支予算書(案)の承認について

パートタイマー等就業規則の改定(案)について

給与規程の改定(案)について

旅費規程の改定(案)について

総合福祉センター緑樹苑

- *介護老人福祉施設緑樹苑
- *在宅サービスセンター

介護老人福祉施設緑樹苑 事業報告

1. 総括

令和5年度の入居者の状況は、要介護度4、5で87%、80歳以上が72%と重度化、高齢化の傾向であった。年度の退去者は27名で、死去による退去者は22名、そのうち16名が施設での看取りを行った。

新型コロナウイルス感染症は、3回目のクラスター(1回目、令和4年6月、2回目、令和4年8月)が7月20日に発生し、入居者38名、ショートステイ利用者1名、職員12名の計51名が感染した。そのうち8名の入居者が重症化し入院となった。終息は8月12日で24日間を要した。

稼働率は、コロナ発生時の入院と、空床の新規調整ができなかったことが大きく、入院 空床を合わせて 1,365 日の損失で、前年度の 1,750 日よりは 385 日の減であったが、稼働 率は、前年度の 93.2%から 1.5%の上昇しかなく 94.7%の結果になった。

感染症の対策は、業務継続計画の見直しを行うとともに、訓練(シミュレーション)を 行い、また、令和 5 年 10 月には、嘱託医との連携、指示のもと、7 回目の新型コロナワク チン予防接種を入居者 42 名に実施した。

面会については、家族及び入居者へは面会制限へのご理解・ご協力を依頼し、アクリル板 越しの対面での面会を実施し、累計81家族448回の面会があった。

2. 運営状況

稼働率は、新型コロナウイルス感染症クラスターによる入院や欠員の空床により、目標の 97.5%に届かず 94.7%に減少した。

人材確保は、年度を通して介護職員は、常勤職員5名、パート職員11名の採用を行ったが、退職者は常勤職員7名、パート職員7名と、人材確保は依然厳しい状況であった。

3. 事業状況

(1) 人材育成

介護保険制度に則った必須の研修(勉強会)は、計画通り実施することができた。県外への研修にも職員3名を派遣することができ、質の向上を図ることができた。

①施設内研修 実施

施設内研修においては、研修ごとに担当職員自身が資料作成、講師役を担った。

月	研修名	参加人数
4月	身体拘束適正化・虐待防止	11 名
5月	事故防止対策	12 名
6月	事故防止対策	8名
7月	感染症・食中毒予防	9名

	看取り介護	9名
10 月	認知症	7名
10 月	褥瘡予防	7名
11月	身体拘束適正化・虐待防止	9名
11 万	事故防止対策	8名
12 月	感染症予防	7名
1月	高齢者虐待防止	8名
1万	看取り介護	8名
2月	認知症	8名
3 月	褥瘡予防	9名

②施設外研修 実施

月	場所	研修名	参加人数
4月	緑樹苑	認知症介護基礎研修	3名
6月	緑樹苑(WEB 研修)	喀痰吸引等研修	1名
7月	緑樹苑(WEB 研修)	喀痰吸引等研修	1名
7万	緑樹苑(WEB 研修)	沖縄県介護支援専門員 専門研修過程Ⅱ	1名
8月	緑樹苑(WEB 研修)	喀痰吸引等研修	1名
0月	緑樹苑(WEB 研修)	沖縄県介護支援専門員 専門研修過程Ⅱ	1名
9月	緑樹苑(WEB 研修)	沖縄県介護支援専門員 専門研修過程Ⅱ	1名
9月	東京国際展示場	国際福祉機器展・フォーラム	1名
	ヒルトン福岡シーホーク	九州老人福祉施設職員研修 福岡大会	2名
10 月	緑樹苑(WEB 研修)	沖縄県介護支援専門員 専門研修過程Ⅱ	1名
	緑樹苑(WEB 研修)	喀痰吸引研修 (講演)	1名
	沖縄県総合福祉センター	沖縄県老人福祉施設職員研究大会	1名
11月	沖縄市産業交流センター	医療との連携から考える高齢者虐待	1名
11 万	長良川国際会議場	全国老人福祉施設大会 JS フェスティバル in 岐阜	1名
	沖縄市民会館大ホール	安全運転管理者等講習	1名
2月	沖縄県男女共同参画センター	介護保険集団指導	1名
2月	緑樹苑	コミュニケーション・アプローチ	3名
	緑樹苑	コミュニケーション・アプローチ	3名
3月	緑樹苑(WEB 研修)	沖縄県介護支援専門員 介護報酬改定伝達	1名
	緑樹苑(WEB 研修)	喀痰吸引等実施研修	1名

③介護福祉士実務者研修支援 実施

職員2名に、実務者研修に係る費用の助成を行った。介護福祉士の試験にも2名合格 し、資格取得ができた。

④介護職員による喀痰吸引等の研修 一部実施

講座からの研修者1名は、当施設での実地研修も終了することができた。もう1名は実地研修のみであったが、産休と育児休暇で5年度中には終了することができなかった。 次年度に継続していく。

- (2) 感染症や災害への対応力強化 一部実施
- ①感染症対策 一部実施

業務継続計画(BCP)を最新の動向に沿った見直しを行い、訓練(シミュレーション)も実施することができたが、感染症予防研修以外の「新型コロナウイルス感染症発生時における業務継続計画」の研修はできなかった。

②災害対策 一部実施

「自然災害発生時の業務継続計画」は作成することができたが、研修、訓練(シミュレーション)を実施することができなかった。

(3) 光熱費の節減 一部実施

電気代高騰の節減として、下記の対策を行う。

- ①スマートクロックを活用し、電気の見える化で使用状況を把握し節電に努める。 コロナクラスター発生時等 (7~8 月) における換気等で冷房の節電調整が難しく電 気代節減には至らなかった。
- ②冷暖房の省エネを図るため、適温の設定温度を全体に周知する。 コロナクラスター終了後の8月中旬以降は居室の適温を設定できた。
- ③照明のこまめな電源オフを行う。 居室に入居者がいないときなど共通の周知ができた。
- ④エアコンのフィルターを使用する前に年2回清掃を行う。冷房使用前の清掃はできたが、暖房使用前清掃はできなかった。
- ⑤ガス給湯器の設定温度を季節に合わせ調整する。 設定温度は季節に合わせて調整を行った。
- (4) 介護現場における生産性向上への取組 一部実施
 - ・担当者を国際福祉機器展に派遣することができた。
 - ・離臥床に対応した離臥床アシストを3組導入した。
 - ・ 移乗機器等の介護ロボットのデモンストレーション実施等、検討をしたが導入には至らなかった。

(5) 入居者処遇

①レク活動 実施

感染予防対策のため、一部中止もあったが、季節の行事、誕生会は開催を行った。また、カラオケ機器の導入でレクレーション活動の充実を図ることができた。

②看取り介護への対応の充実 実施

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」の内容 に沿った対応を行った。

③栄養マネジメントの強化 実施

栄養マネジメントに基づき、入居者の栄養状態の改善、維持に努め、また、栄養マネジメント加算の要件である LIFE への栄養・摂食嚥下情報の提供を継続して行った。

④口腔衛生管理の充実 実施

月1回以上の歯科医師の訪問診療、また週4回の歯科衛生士2名による訪問で口腔ケアについて具体的な技術的助言及び指導や口腔衛生器具等のチェックも受けることができ、協働して口腔ケアスキルの向上が図れた。また、口腔ケアの専門的指導・実施により、誤嚥性肺炎の予防効果に努めた。

(6) 備品整備 一部実施

- ①入所者の電動ベッドのモーターやリモコンの故障等があり、12 台入れ替を行った。
- ②AEDが耐用年数を経過したため、新機種に買換えを行った。
- ③1 居室と厨房内の業務用冷暖房機が老朽化により作動せず、取替えが必要となり、2 台の取替工事を行った。
- ④厨房の業務用スライサー、コールドテーブルは、劣化のため計画通り取替を行った。

4. 行事・活動等 実施

(1) 年間計画報告

月	行 事 名	参加人数
4月	誕生会 (4/20)	29名
	入居者健康診断(5/2)	57名
5 月	母の日祝い会 (5/12)	26 名
	誕生会 (5/25)	20 名
6月	父の日祝い会 (6/16)	28 名
0月	誕生会 (6/22)	29 名
7 月	七夕まつり (7/7)	21 名
1月	誕生会 (7/27) 中止	0名
8月	夏祭り (8/17)	20名

	誕生会 (8/24)	25 名
0. []	誕生会 (9/14)	27名
9月	敬老会 (9/19)	28名
10 月	運動会(10/20)	26名
10 月	誕生会(10/26)	31名
11月	誕生会(11/23)	20名
	消防訓練(12/11)	42名
12月	誕生会(12/14)	29名
12月	居者健康診断 (12/15)	53名
	クリスマス忘年会(12/22)	28名
1 日	新年会 (1/4)	28名
1月	誕生会 (1/25)	34名
2月	誕生会 (2/22)	26名
3月	消防訓練(3/12)	48名
эД	誕生会 (3/21)	27 名

(2) 実習・ボランティア受入

感染症予防対策のため、受け入れなし。

(3) クラブ活動状況

クラブ名	回数(年度)	参加人数(1回当たり)
ミニシアター	62	28
音楽鑑賞	40	26
音楽体操	75	22

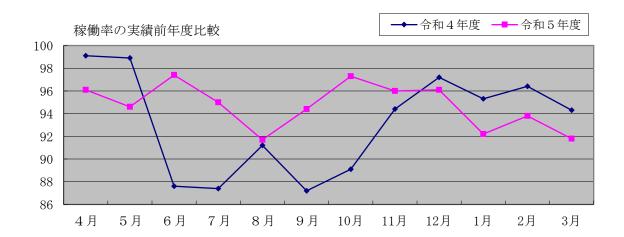
(4) その他

月	内 容
	法人監査
5月	簡易水道検査
	害虫駆除(亜土消毒)
6月	新型コロナワクチン接種(入居者及び職員6回目)
0万	消防設備等機器点検
10 月	新型コロナワクチン接種(入居者及び職員7回目)
11月	害虫駆除及(亜土消毒)
11月	高圧設備点検
12月	消防設備等機器点検

5. 利用状況について

(1) 年度実績(利用日数) 特養 70名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
特養	2,018	2, 052	2,045	2,062	1,990	1, 983	2, 112	2,015	2, 086
稼働率	96. 1	94. 6	97. 4	95. 0	91. 7	94. 4	97. 3	96. 0	96. 1
月	1月	2月	3 月	計					
特 養	2,000	1,904	1, 991	24, 258					
稼働率	92. 2	93.8	91.8	94. 7					



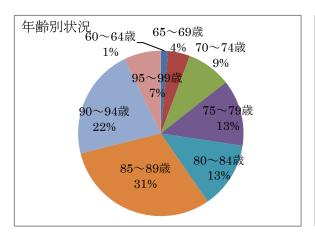
(2) 入居者の性別、要介護度別、年齢別の状況

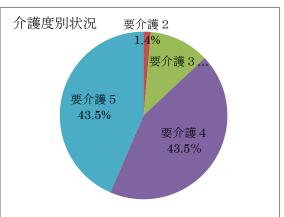
介護度	要介	護 1	要介	護 2	要介	護 3	要介	護 4	要介	護 5	į	計
年齢	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
60~64 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
65~69 歳	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	1
70~74 歳	0	0	0	0	1	0	1	1	1	2	3	3
75~79 歳	0	0	0	0	0	1	0	1	3	4	3	6
80~84 歳	0	0	0	0	1	0	1	5	2	0	4	5
85~89 歳	0	0	0	0	0	2	2	9	2	6	4	17
90~94歳	0	0	0	1	0	3	0	6	1	4	1	14
95~99 歳	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2	3	2
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	1	2	6	8	22	10	20	20	49

・最大年齢 99 歳、最少年齢 64 歳

·平均年齢:男82.90歳、女85.97歳、計85.18歳

·平均介護度:男4.2、女4.2、計4.2





(3) 入退所状況

令和5年度の入居者数は29人(男11人、女18人)、退去者は27人(男8人、女19人)で、死亡で退去の22人のうち、16人は施設での看取り介護であった。

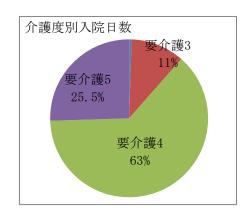
	入居			退去					
区分	他施設	新規	击	死亡	医療	療養型	家庭	その他	計
月	から入居	入居	口口	(看取り)	機関	医療施設	多 庭	そり他	日日
4月	1	2	3	2 (2)	0	0	0	0	2
5月	1	1	2	1 (1)	0	0	0	0	1
6 月	0	1	1	0	0	0	0	0	0
7月	0	1	1	2 (2)	0	0	0	0	2
8月	1	1	2	3 (1)	1	0	1	0	4
9月	0	5	5	1 (1)	0	1	0	0	2
10 月	1	0	1	2 (2)	0	0	0	0	2
11月	2	2	4	3 (1)	2	1	0	0	4
12 月	0	2	2	2 (2)	0	1	0	0	3
1月	0	1	1	3 (2)	2	0	0	0	4
2月	1	2	3	0	0	0	0	0	0
3 月	0	4	4	3 (2)	1	0	0	0	3
計	7	22	29	22 (16)	6	3	1	0	27

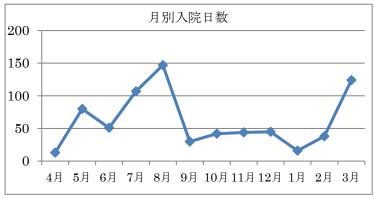
(4) 入居者の入院状況

入院日数は、要介護4,5で88%を占め、重度化による体力低下等の傾向が表れている。月別に見ると8月が一番多く、原因は、尿路感染症、肺炎による入院が主であった

介護度別入院日数

月 区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4 月	0	0	0	13	0	13
5 月	0	0	0	75	5	80
6 月	0	0	5	38	8	51
7月	0	0	5	92	10	107
8月	0	0	14	75	58	147
9月	0	0	6	14	10	30
10 月	0	4	4	0	34	42
11月	0	0	3	41	0	44
12 月	0	0	0	45	0	45
1月	0	0	0	5	11	16
2月	0	0	13	25	0	38
3 月	0	0	31	40	53	124
計	0	4	81	463	189	737





緑樹苑短期入所生活介護事業 事業報告

1. 総括

新型コロナウイルスによる影響は行動制限の緩和が有り軽減されたが、施設内感染でクラスターが発生し7月から8月にかけて受け入れの中止や利用控え、他事業所への利用変更があり稼働率が減少した。10月以降は新規利用者の増加も有り稼働率は上昇したが、令和4年度の71.8%を下回る結果となった。

令和 5 年度も予防対策を継続し、利用者本人の体調伺いや同居家族の発熱等確認の協力 願いを行い、予防対策を徹底した。

職員に関しては、介護老人福祉施設と同様、感染対策マニュアルや国の感染拡大防止に関する通知等を踏まえ、感染拡大防止に努めるよう周知徹底した。

2. 運営状況

稼働率は、7月、8月の施設内コロナ発生で受け入れ中止等もあり、目標の75%を下回り67.7%となった。

3. 実施内容(介護老人福祉施設における事業と一体的に取り組む)

(1) 人材育成 実施 (介護老人福祉施設と同様に行う)

①施設内研修 実施

月	研修名	参加人数
1 日	高齢者虐待防止	1名
1月	看取り介護	1名

②施設外研修

月	研修名	参加人数
11月	沖縄県老人福祉施設職員研究大会	1名

(2) 感染症対策及び災害対策 一部実施

特別養護老人ホームの計画と連動して、感染対策を継続。嘱託医の指導も踏まえ、感染症 発生時のシミュレーションを行い、具体的な対応方法や手順の確認を実施した。コロナ感染 症及び災害対策の業務継続計画の研修は実施できていない。

(3) 利用者処遇

①安心できるサービスの提供 実施

利用者・家族が、穏やかで安心されるケアを目指し、その人らしい暮らしが実現できるよう、ケアマネージャーの計画書に添って、サービスの提供を行った。

②レク活動の充実

実施感染予防対策のため、一部中止もあったが、レクリエーション活動や季節毎の行事を実施し、充実した生活になるよう支援を行った。また、カラオケ機器の導入を行い、レクリエーション活動の充実を図った。

③ケアの統一 実施

他職種連携の元、利用者の身体的特徴や細かな申し送りを実施しケアの統一を図った。

④計画書に沿った機能訓練の充実

実施サービス計画書に基づいて、心身の状態にあった機能訓練を可能な限り実施した。 残存機能や ADL 状況を把握し適切な福祉用具の選定や使用方法について家族やケアマネージャーへ助言や報告を行った。

⑤緊急利用の受け入れ 実施

緊急利用の受け入れや、虐待及びそれらに発展しかねないケースの受け入れを可能な 限り実施した。

⑥ご家族及び居宅介護支援事業所との連携 実施

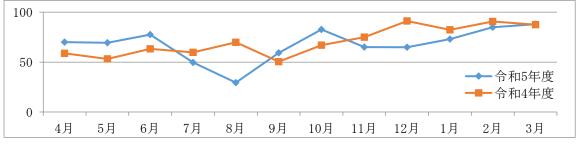
家族、介護者からの介護相談への対応や、介護技術のアドバイスを行い介護負担の軽減が出来るよう支援を実施。家族から特養への入所や介護負担軽減等の相談の対応も行った。また、居宅介護支援事業所との連携や、信頼関係の構築を図る事ができ新規利用の依頼件数が増加した。

4. 利用状況について

(1) 月間利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
利用延人数	168	172	186	123	73	142	205	156	161
稼働率(%)	70	69.4	77.5	49.6	29.4	59.2	82.7	65	64.9
月	1月	2 月	3 月	計					
利用延人数	181	197	218	1,982					
稼働率(%)	73	84.9	87.9	67.7					

稼働率比較グラフ

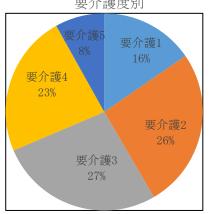


(2) 要介護度別延べ人数

19

要介護度別

	男	女	計	割合 (%)
要介護 1	51	27	78	16
要介護 2	21	112	133	26
要介護 3	9	128	137	27
要介護 4	25	93	118	23
要介護 5	19	25	41	8
計	122	185	507	100



(3) 利用者平均要介護度

男	女	計
2.5	2.9	2.8

(4) 性別平均年齢

男	女	1
76.32	91.09	87.54

(5) 提供支援事業所別定期利用者数

居宅介護支援事業所

令和5年度利用者数

1	緑樹苑指定居宅介護支援事業所	9
2	中部徳洲会病院 居宅介護支援事業所	9
3	居宅介護支援センター沖縄市幸笑	8
4	スマイルプラン元氣のたね	6
5	居宅介護支援事業所 シオン	5
6	ケアプランセンター愛聖	5
7	中部サンケアネット居宅介護支援事業所	3
8	ケアプラン白浜	3
9	琉球メディカルズ指定居宅介護支援事業所	2
10	居宅介護支援事業所おきなわ長寿苑	2
11	ケアプランセンターWAN STYLE	2
12	ケアプランステーション 晴れ空	2
13	ケアプランあやかりの城	2
14	沖縄市地域包括支援センター西部南	2
15	居宅介護支援事業所愛誠園東センター	1
16	居宅介護支援事業所みなみ	1
17	居宅介護支援事業所 愛の村	1
18	居宅介護支援事業所 ケアプラン みちしお	1
19	介護計画相談所さとうきび	1
20	沖縄一条園居宅介護支援事業所	1

21	沖縄ケアサポートセンター	1
22	一般社団法人中部地区医師会指定居宅介護支援事業所	1
23	湘南病院ケアプランセンター	1
24	ケアプラン琉花	1
25	ケアプランひらめき	1
26	ケアプランセンター美らさん	1
27	ケアプランえんまぁる	1
28	ケアプランいきがい	1
29	ケアプラン愛	1
30	ケアプラン ふたふぁ	1
31	沖縄市地域包括支援センター西部北	1
32	アカラ居宅介護支援事業所	1
33	あかみち薬局	1

緑樹苑給食センター 事業報告

1. 総括

令和5年度は、昨年に引き続きさまざまな食品食材の相次ぐ値上げの年となった。調理にかかる食材のコスト削減策として、苑内の農園で収穫した薬草や野菜を提供することや納品業者の仕入れ値の確認を行い見直しするとともに、直接特価食品食材の買い出しを行い食材費のコスト削減に努めた。また、栄養士と調理員との在庫管理の情報共有を行いながら、献立作成に反映させることで食材費の管理に努めた。

宅配食サービスを通して、高齢者をはじめとする地域住民が住み慣れた地域で安心して 生活していくことを実現するために、健康食をお届けするとともに安否確認によるコミュ ニケーションを大切に笑顔で暮らせる健康的な生活のサポートを行った。

利用者が施設及び在宅において、健康長寿生活が維持できるように管理栄養士による栄養バランスの摂れた季節料理・沖縄料理・沖縄行事食事・沖縄薬膳料理の提供し健康増進を図った。

法人施設での集団感染クラスター発生時には、食事の確保と感染拡大を防ぐために安全な 食事提供を行うとともに、他職員間で連携を図り感染拡大防止に努めた。職員の新型コロナ ウイルス感染症は、年間を通して7名陽性者と濃厚接触者3名が発生した。

2. 運営状況

沖縄市委託事業の配食サービスの実績は、令和4年度年間食数4,875 食に対し、令和5年度年間食数は6,457 食と前年度と比較すると年間1,582 食の増となった。給食サービスの実績は、令和4年度年間食数41,485 食、月平均3,457 食、1日平均115 食に対し、令和5年度年間食数は、年間46,704 食、月平均3,892 食、1日平均129 食、前年度と比較して年間5,216 食の大幅な増加となった。毎日利用する方が継続している事や1日1食の利用から昼食と夕食2食利用に変更した方や、ご夫婦の新規利用者が増えた事、また、弁当利用者のご家族の方も宅配弁当を利用した事も増加につながった。

職員においては、調理員9月1名・11月1名と2名(常勤)の休職、配達員は、6月・8月に2名の退職があった。コロナ関連による就業制限等もあり、調理員、配達員の勤務体制維持することが、困難な状況で他職員に超過勤務が生じた。ハローワーク・求人誌等に記載し、調理員1名採用、配達員は、2名採用し昼食の配達を2名体制から3名体制で行い質の良いサービスができた。

3. 事業状況

居宅介護支援事業所・地域包括支援センターと連携し新規利用者獲得に努めた。長期入 院や契約終了もあったものの目標達成となった。

令和5年度	食 数 (月)	食 数 (年)		
目 標	3,600	41,488		
実 績	3,888	46,704		

令和5年度配達実施地域

沖縄市:胡屋・園田・南桃原・池原・知花・松本・美里・嘉間良・住吉・久保田・照屋・

古謝・泡瀬・山里・海邦町・美里仲原町・宮里・美原・吉原・高原・桃原・中央・

上地・越来・比屋根・東与儀・大里・仲宗根町・池原

北中城村:島袋

北谷町:吉原

4. 実施内容

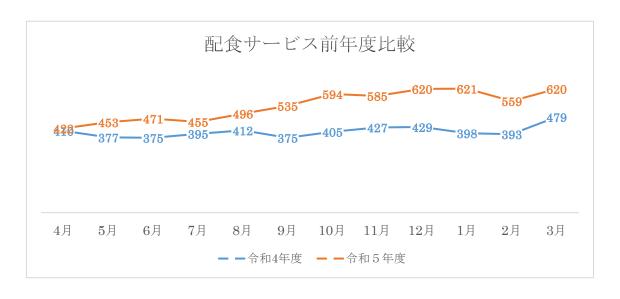
(1) 利用者サービス

①沖縄市委託事業 配食サービス

市が認めた 65 歳以上の高齢者・高齢者世帯へ原則として月曜日~土曜日の昼食又は夕食 (但し日曜日、祝祭日、元旦、暴風発令及び災害時、慰霊の日を除く)上限 5 回まで宅配行 い安否確認を行った。

令和5年度 配食サービス年間実績 8月暴風発令により1日休業した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間食数
令和4年	410	377	375	395	412	375	405	427	429	398	393	479	4,875食
令和5年	422	453	471	455	496	535	594	585	620	621	559	620	6,457食



②給食サービス

食事の困難な方や高齢者・高齢者世帯へ栄養バランスの取れた食事を月曜日~日曜日の昼 食及び夕食(但し、元旦、暴風発令及び災害時を除く)を宅配し安否確認を行った。

令和5年度 給食サービス年間実績 暴風発令により1日休業した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間食数
令和4年	3,160	3,314	3,159	3,195	3,525	3,594	3,665	3,580	3,632	3,568	3,366	3,727	41,485
令和5年	3,485	3,626	3,576	3,671	3,786	4,033	4,161	4,043	4,241	4,156	3,800	4,080	46,704



③介護食について <実 施>

昨年に引き続き、嚥下調整食の取り組みを行い、食事形態がより良い物になるようゲル 化剤の種類や濃度及び切り方、盛り付けなどの研究を行う。

嚥下調整食の濃度、盛り付けの取り組みを行い、栄養バランスのとれた食事を提供する とともに、嚥下困難な方へのトロミ剤・ゲル化剤の適切な濃度については統一濃度で提供 した。

④パンフレット作成について <実 施>

栄養管理された食事による健康維持及び「栄養の大切さ」食への関心を高めるよう宅配サービスパンフレット作成し、健康宅配弁当の情報を地域へ発信するとともに宅配サービス事業拡大を図る。

宅配弁当のパンフレット作成を行い、各地域包括支援センターと連携を図り健康弁当の情報を地域へ発信を行った。地域の方からパンフレットを見ての問い合わせが数多くあった。又、配達時に宅配車両を見てパンフレットを求めるケースもあった。

⑤行事食について <実 施>

地元産の旬の食材を使った四季折々の行事食、栄養バランスよく色彩豊かな食事の提供を行うとともに、行事食に合わせたメッセージカード等を添えるなど、食事以外でも楽しんでいただけるよう に行事の雰囲気作りに努める。

日々の献立を工夫しながら、四季折々の行事食や沖縄行事食に合わせたメッセージカードを添え行事の雰囲気作りに努めた。毎月の誕生会を昼食行事食とし、弁当容器・重箱容器等を使用し見た目も楽しめる食事の提供をした。

⑥安否確認について <実 施>

緊急マニュアルの周知を徹底するとともに、配達時の利用者の様子を把握し、家族及び 地域包括支援センターへの情報提供と連携協力による事故防止を図る。

緊急マニュアルの周知し配達時は、利用者との会話や表情については配達員で情交換につとめ事故防止に努めた。配達時に、不在のケースがあり迅速にご家族・地域包括支援センターとの連携を密にとり適切な対応行った。

⑦営業活動について <未実施>

カロリー計算された献立表を利用した、健康弁当のチラシを目標として、毎月 300 枚ポスティングの営業活動行い新規利用者獲得を図る。

4月に目標の300枚のポスティンの営業活動を行ったが、5月以降に関しては、コロナ 就業制限や配達員の退職等もあり営業活動は継続できなかった。

(2) 人材育成

<目 的>

施設研修・外部研修の積極的な参加を通じて、専門職として知識の習得・技術の向上を図る。 <内 容>

- ①食品衛生協会が主催する研修(衛生管理・食中毒予防)へ職員の派遣を行う<実施>・HACCPについて(Web)参加した。
- ②調理員としての知識、技術の向上に努め、ネット配信レシピ等の勉強会の実施<一部実施>
- ・動画配信レシピ等の勉強会一部実施したが、職員の休職等で計画的にはできなかった。
- ③管理栄養士連絡会・調理員連絡会の研修へ参加<実施>
 - ・社会福祉施設等栄養士連絡会 栄養ケア・マネジメントの強化に向けたスキルアップ (Web) 参加
 - ・社会福祉施設給食施設担当職員研修・給食における衛生管理(Web)参加
- ④調理師資格取得試験準備講習・その他自主的な研修、取得に係る経費を助成行う。<未実

施>

・調理師資格取得試験準備講習は、受験者がいなかった為、助成は行わなかった。

(3) 衛生管理<実施>

- ①衛生管理計画書を作成し実行内容日々記録し実施した。
- ②職員一人ひとり衣服も清潔を心がけ、毎月の細菌検査も実施し健康管理に努めた。
- ③配達時は、保冷ボックス及び保冷剤使用した衛生管理に努めた。
- ④配達時には、利用者一人ひとりに直接注意事項を働きかけ衛生管理に努めた。
- ⑤専門業者による貯水槽の清掃年1回実施した。
- ⑥専門業者による害虫駆除年間6回実施した。

(4) 緊急時の備蓄管理 <実施>

非常食(飲料水・レトルト食品・弁当容器)等の食品・備品等を3日分常備した。また、 非常食の賞味期限の確認を行い入れ替えも行った。

(5) 経費節減 <実施>

日々の申し送りにて、物価高騰による光熱費や食材の値上がりの情報共有し職員一人ひとりが経費節減に意識を高めていく環境作りに努めた。

(6) 新型コロナウイルス及び感染症予防の徹底 <実施>

新型コロナウイルス感染対策として、職員の手指消毒、マスク着用、出勤時・午後の就業時の検温・健康チェックの継続実施。配達員は配達ごとに手指消毒・配達車両の換気、アルコール消毒を行い感染予防に努めた。納品業者に対しては、検温・手指消毒・マスク着用の実施をした。また、施設の食堂ホール・栄養士室・職員休憩室等のこまめな換気を行い感染予防に努めた。

(7) 年間行事計画

年間行事実施報告

	特養	デイ	宅配
4月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳	日替わり健康弁当
	ケーキセット	ケーキセット	盛り合わせ弁当
	手作りおやつ	カフエタイム・ケーキ	
		手作りおやつ	
5月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳	日替わり健康弁当
	ケーキセット	ケーキセット	母の日祝い弁当
	手作りおやつ	ゴーヤーの日	盛り合わせ弁当
	母の日・昼食祝い膳	母の日・昼食祝い膳	ゴーヤー弁当
	ケーキセット	ケーキセット	

	手作りおやつ	カフエタイム・ケーキセット	
	7 11 7 4- 1 -	手作りおやつ	
6月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳	日替わり健康弁当
	ケーキセット	ケーキセット	父の日祝い弁当
	手作りおやつ	父の日・昼食祝い膳	盛り合せ弁当
	父の日・昼食祝い膳	カフエタイム・ケーキセット	
	ケーキセット	手作りおやつ	
	手作りおやつ		
7月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳	日替わり健康弁当
	ケーキセット	誕生会ケーキセット	七夕弁当
	手作りおやつ	七夕献立	盛り合せ弁当
	七夕献立	カフエタイム・ケーキセット	
		手作りおやつ	
8月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳	日替わり健康弁当
	ケーキセット	誕生会ケーキセット	旧盆弁当
	手作りおやつ	旧盆献立	盛り合せ弁当
	旧盆献立	カフエタイム・ケーキセット	
		手作りおやつ	
9月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳・	日替わり健康弁当
	ケーキセット	ケーキセット	敬老の日祝い弁当
	敬老の日・祝い膳	敬老の日祝い膳	盛り合せ弁当
	手作りおやつ	カフエタイム・ケーキセット	
		手作りおやつ	
10 月	誕生会・昼食祝い膳・	誕生会・昼食祝い膳	日替わり健康弁当
	ケーキセット	ケーキセット	盛り合せ弁当
	そばの日	カフエタイム・ケーキセット	そばの日弁当
	手作りおやつ	そばの日	
		手作りおやつ	
11月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳・	日替わり健康弁当
	ケーキセット	ケーキセット	盛り合せ弁当
	手作りおやつ	カフエタイム・ケーキセット	
		手作りおやつ	
12月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳・	クリスマス弁当
	ケーキセット	ケーキセット	日替わり健康弁当
	クリスマス献立	カフエタイム・ケーキセット	盛り合せ弁当
	クリスマス会ケーキセッ	クリスマス献立・ケーキセッ	年越しそば
	F	F	
	手作りおやつ	手作りおやつ	
	年越しそば	年越しそば	
1月	新年昼食祝い膳	新年昼食祝い膳	正月弁当
	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳	七草粥
	ケーキセット	ケーキセット	日替わり健康弁当
	七草粥	カフエタイム・ケーキセット	盛り合せ弁当

	手作りおやつ	七草粥	
		手作りおやつ	
2月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳	盛り合わせ弁当
	ケーキセット	ケーキセット	日替わり健康弁当
	手作りおやつ	カフエタイム・ケーキセット	バレンタインデー
	旧正月献立	手作りおやつ	献立
	バレンタインデー献立	旧正月献立	
		バレンタインデー献立	
3月	誕生会・昼食祝い膳	誕生会・昼食祝い膳	日替わり健康弁当
	ケーキセット	ケーキセット	盛り合せ弁当
	手作りおやつ	カフエタイム・ケーキセット	ちらし寿司弁当
	ひなまつり献立	手作りおやつ	
		ひなまつり献立	

在宅サービス 緑樹苑デイサービスセンター 事業報告

1. 総括

新型コロナウィルス感染症の位置付けが 5 類に移行されたが送迎バス乗車前の検温やマスク着用、手指消毒など基本的な感染予防対策は徹底して継続してきた。その中で利用者が楽しみにしているドライブや学童クラブとの交流は計画通り行い好評を得ることができたが、利用者 3 名、職員 2 名の新型コロナウィルス感染があったことやインフルエンザの流行もあり、今年度も地域ボランティアの受け入れはできなかった。新型コロナウィルスやインフルエンザは感染拡大することはなくデイサービスの閉所はなかった。

2. 運営状況

1日平均29人以上、月間延利用者数720人以上の事業目標に対し、1日平均25.2名、月間延べ利用者641名、稼働率71.2%となった。新規獲得25件に対し、家族の介護負担による施設入所6件、死亡4件毎日利用されている利用日数が多い利用者が自宅での転倒による骨折で長期入院が6件あった。

3. 事業状況

- (1) サービスの質の向上
- ①医療的ケアが多い利用者も在宅生活が維持できるよう積極的な受け入れに取り組む。
- →インスリン注射 2 名、人工膀胱、人工肛門 1 名の受け入れや、要介護度 5 の利用者 1 名 の受け入れ。多様化する介護ニーズに応えていけるよう努めた。
- ②モニタリングを実施
- ・本人、家族、ケアマネージャー等へニーズや満足度等達成状況を確認する
- →利用者様へ口頭での満足度について聴き取りを行い、利用者から希望が多い「ドライブ」 「苑内散歩」「学童クラブとの交流」等については特に好評を得ることができた。
- ③レク活動を利用者がより楽しむことができるように、部内会議での検討や研修に参加し 新しい情報を取り入れる。
- ・利用者の外出機会が図られるよう、月1回のミニドライブを実施する。 →浜下りドライブや遠遊会、初詣、花見等、イベントでの外出機会は利用者に喜ばれた。
- ・デイサービスの畑で、季節に合った野菜や果実等の栽培を計画的に行い、利用者がそれぞ れ好きな分野に参加し楽しめるように取り組む(野菜作り・収穫・おやつ作り)
- →利用者が季節の野菜を栽培と(じゃがいも、ミニトマト、玉葱、人参等)収穫した野菜を お土産として持ち帰り家族から喜ばれた。
- ④利用者が現在の生活をいつまでも維持できるよう、個別機能訓練や苑内歩行訓練を実施 し ADL、IADL の維持に努める。

- →毎日の苑内散歩は実施し、利用者からは「花をみながらの散歩は楽しい」と好評を得た。
- ⑤学童クラブとの交流を月 1 回可能な方法で実施できるように取り組み、世代間交流を通 し楽しみが持てるようにする。
- →毎月のイベントで学童交流を開催し利用者から好評を得ることができた。また、児童から も特技等を披露したいと声もあり誕生日会などで披露してもらった。
- ⑥食事無料化を継続し、利用者及びその家族の経済的負担を軽減する事で、利用しやすい デイサービスに努める。
- →生活保護受給者の 5 名が食事無料を機に利用されている。また、近隣市町村の支援事業 所からの問い合わせ、ホームページを閲覧したケアマネージャーからの問い合わせもあ った。

(2) 人員の確保及び育成

- ①法人内外の研修や勉強会への参加。
- ・各専門職(看護師・訓練員)の研修やセミナー等を計画し参加する。
- →看護実務者研修に看護師1名を派遣
- ・職員研修計画(新人・中堅・主任・管理職)に沿ってネット配信研修に参加をする。
- →個別研修として、外部への研修に参加した。(高齢者虐待防止研修、権利擁護研修、虐待 事故防止研修、国際福祉機器展、マネジメントスキル講座、沖縄県老人福祉士 施設職員 研究大会等)
- ②介護実務者研修及び認知症介護実践者研修の資格取得に係る経費の助成を行う。
- ・介護福祉士国家試験の実務経験に満たない職員に対して、認知症介護基礎研修の取得 を 目指し無資格者ゼロにする取り組みを行う。
- →認知症介護基礎研修2名参加、無資格者ゼロとなった。
- ・介護実務者研修及び介護福祉士、認知症介護実践者研修、認知症介護リーダー研修の資格 取得を目指す。
- →認知症介護実践者研修1名、介護実務者研修1名が参加、介護福祉士国家試験に1名 が 合格した。
- ③高齢者虐待防止委員会を設置する。
- ・利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の禁止等について職員が認識し予防及び早期発 見のため、定期的に委員会を開催する。(年3回)
- →虐待防止委員会を設置し、委員会メンバーの選出や委員会の開催を行った。

(3)業務改善

- ①「ケアプランデータ推進システム」を活用し、経費や業務負担の削減をする。
- →ケアプランデータ推進システムを活用している支援事業所からの案内がなかった。
- ②タブレット端末の活用法を見直し更なる業務改善に取り組む。

- ・紙媒体での記録から、電磁的記録に移行できるように取り組み、記録業務での負担軽減を 図る。
- →電磁的記録で記録業務の負担軽減ができた。
- ③業務標準化への取り組み
- ・業務分担、見直しを行い属人化の解消を目指す。
- →現場での役割業務の見直しを行い、全職員が各役割に応じ対応することができた。主任や 相談員についても請求業務や計画書の作成等同様に行えた。

④経費削減

- ・消耗品の使用頻度、仕入れ価格・業者の見直しを行う。
- →物価高騰を受け、価格の安い業者を選定。また使用頻度の多い物から切り替えを行った。
- ・水道高熱費の使用について適正使用に努める。
- →入浴介助での水道使用について、水を出しっぱなしにしない等職員が使用適正化に 努 めた。

(4) リスクマネジメント

- ①防災マニュアルに沿ってデイサービス避難誘導訓練を年2回以上実施する。
- →7月に避難誘導訓練。3月には学童クラブ合同の総合防災訓練を実施した。
- ②災害対策に向けた地域との連携作りに取り組む。
- →1月に胡屋自治会訪問。3月に沖縄市消防団と面談し連携作りを図った。
- ③利用者送迎時における交通法規の遵守。
- ・出勤時には、アルコールチェック及び免許証携帯の確認を行い表記する。
- →出勤時、終業時にはアルコールチェックと免許証の確認をしている。
- ・外部講師を招き、安全運転についての勉強会を年1回開催する。
- →7 月に外部講師を招き安全運転講習会を実施。12 月には安全運転管理者講習へ職員を派遣した。
- ④送迎車の日々の車両チェック及び老朽化への取り組みを行う。
- ・法定点検及び毎日の車両チェックを行い、不備等あれば早急に対応する。
- →毎朝、車両点検を実施。法定点検も実施し大きな故障、不備等、なかった。
- ・老朽化した車両は購入及びリースを検討する。
- →車両の老朽化について定期的に確認をしている、今年度は購入や新規リースを必要とする車両はなかった。

⑤緊急時対応

- ・外部講師を招き、AED 取り扱いについての勉強会を年1回開催する。
- →8月に外部講師を招き AED 取り扱い説明会及びデモ機を使用した講習を行った。

(5) 感染症対策

- ①日々の健康管理を行い、マニュアルに沿った感染予防対策を図る。
- →利用者、職員、日々の健康管理を行い、マニュアルに沿った感染予防対策を行うと共に感 染症対策委員会での会議禄を全職員が周知し感染予防に努めた。
- ②検温、マスク、手洗い、手指消毒の徹底、不要不急の外出の自粛。
- →出勤時の体温測定及び休憩後の体温測定。常時マスクの着用や手指消毒、テーブルやパズ ル等のアルコール消毒を徹底して行っている。
- ③デイサービス内や、送迎時の車両内の換気と消毒の定期的な消毒の徹底。
- →デイサービスホール内の常時換気や車両での送迎時にも換気を行っている。
- ④利用者の体調確認や体調管理の助言、マスク着用・手洗い、手指消毒を促す。
- →利用者の体調確認などで、受診等の必要性があれば看護師から家族へ連絡を入れ、早めの 受診へと繋げた。利用者への感染予防では全職員が声かけを行い、マスク着用や 手指消 毒を行っている。
- ⑤感染対策委員会を定期的に開催(年3回)、勉強会を実施する。
- →感染症対策委員会を設置し、委員会メンバーの選出や委員会の開催を行った。
- ⑥感染症状況により通所サービスを訪問サービスに切り替えて提供する。
- →該当する事案はなかった。

4. 行事・活動等

(行事・イベント)

	三線クラブ (8日)	4名
	誕生会 (13 日)	29 名
4 🛘	カフェタイム (17日)	25 名
4月	浜下りドライブ (21日・25日)	32名
	手作りおやつ (24 日)	26 名
	学童交流会「新一年生お披露目会」 (27 日)	25 名
	三線クラブ (8 日)	3名
	手作りおやつ (10 日)	25 名
5月	学童交流会「母の日会」(13 日)	25 名
	カフェタイム (17日)	21 名
	誕生会 (25日)	23 名
	手作りおやつ会 (12 日)	23 名
C 11	学童交流会「父の日会」(16日)	22 名
6月	誕生会 (23 日)	23 名
	カフェタイム (27日)	30名

1月 七夕会(7日) 22名 カフェタイム (10日) 28名 手作りおやつ会((7日) 30名 番別 (18日) 26名 番別 (18日) 26名 第2 会 (15日) 26名 第2 会 (15日) 23名 第2 会 (11日・14日) 23名 第2 会 (11日・14日) 22名 第2 会 (11日 (11日・14日) 22名 第2 会 (11日 (11日・14日) 22名 第2 会 (12日) 23名 第2 会 (23日) 23名 第2 会 (23日) 23名 第2 会 (21日) 23名 第2 会 (21日) 22名 第2 会			
7月 事作りおやつ会(17 日) 30 名 選班会(27 日) 26 名 誕生会(9 日) 26 名 カフェタイム(15 日) 24 名 学童交流会「夏まつり」(16 日) 23 名 三線クラブ(23 日) 3 名 学童エイサー、験員エイサー(29 日) 26 名 事作りおやつ(8 日) 27 名 透彩会(11 日・14 日) 52 名 カフェタイム(13 日) 24 名 学童交流会「敬老会」(19 日) 31 名 誕生会(28 日) 29 名 事作りおやつ(18 日) 23 名 誕生会(23 日) 30 名 カフェタイム(26 日) 24 名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 24 名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 27 名 人代能記オンラインコンサート(31 日) 23 名 選生会(27 日) 25 名 カフェタイム(44 日) 26 名 事件りおやつ(23 日) 21 名 総合防災訓練(11 日) 27 名 事件のおやつ(12 日) 23 名 誕生会(18 日) 29 名 ま工ドライブ(25 日) 8 名 学童交流会「新年会」(4 日) 29 名 こドライブ(8 日) 29 名		七夕会(7日)	22 名
虚観誘導消練 (18 日) 26 名 誕生会 (27 日) 25 名 8月 誕生会 (9 日) 26 名 カフェクイム (15 日) 24 名 学童交流会「夏まつり」(16 日) 23 名 日本のでは、日本		カフェタイム (10日)	26 名
誕生会 (27 日) 25名 大フェタイム (15 日) 24名 学童交流会「夏まつり」(16 日) 23名 二線クラフ (23 日) 3名 学童エイサー、職員エイサー (29 日) 26名 手作りおやつ (8 日) 27名 遊游会 (11 日・14 日) 52名 カフェタイム (13 日) 24名 学童交流会「敬老会」(19 日) 31名 誕生会 (28 日) 28名 学童交流会「運動会」(10 日) 29名 手作りおやつ (18 日) 23名 誕生会 (23 日) 30名 カフェタイム (26 日) 24名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23名 連生会 (7 日・15 日) 47名 カフェタイム (14 日) 26名 事作りおやつ (23 日) 25名 誕生会 (27 日) 26名 カフェタイム (9 日) 21名 総合防災訓練 (11 日) 27名 手作りおやつ (12 日) 23名 誕生会 (18 日) 29名 ミニドライブ (25 日) 8名 学童交流会「新年会」 (4 日) 29名 1月 第二次子グブ (8 日) 29名 1月 第二次子グブ (8 日) 8名	7月	手作りおやつ会 (17日)	30名
製生会(9日) 26名 カフェタイム (15日) 24名 学童交流会「夏まつり」(16日) 23名 三線クラブ (23 日) 3名 学童エイサー、職員エイサー (29日) 26名 4月 手作りおやつ (8日) 27名 遊游会 (11日・14日) 52名 カフェタイム (13 日) 24名 学童交流会「敬老会」(19日) 31名 10月 季童交流会「運動会」(10日) 29名 事作りおやつ (18日) 23名 誕生会 (23 日) 30名 カフェタイム (26 日) 24名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 27名 人代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23名 遊遊会 (7日・15 日) 47名 カフェタイム (14 日) 26名 事作りおやつ (23 日) 25名 誕生会 (27 日) 26名 カフェタイム (9 日) 21名 総合防災訓練 (11 日) 27名 事作りおやつ (12 日) 23名 誕生会 (18 日) 29名 ミニドライブ (25 日) 8名 学童交流会「新年会」 (4日) 26名 学童交流会「新年会」 (4日) 26名 学童交流会「新年会」 (4日) 29名		避難誘導訓練 (18日)	26 名
8月 カフェタイム (15 日) 24名 学童交流会「夏まつり」(16 日) 23名 三線クラブ (23 日) 3名 学童エイサー、職員エイサー (29 日) 26名 事作りおやつ (8 日) 27名 遠游会 (11 日・14 日) 52名 カフェタイム (13 日) 24名 学童交流会「歌老会」(19 日) 31名 誕生会 (28 日) 29名 事作りおやつ (18 日) 23名 誕生会 (23 日) 30名 カフェタイム (26 日) 24名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23名 適遊会 (7 日・15 日) 47名 カフェタイム (14 日) 26名 事作りおやつ (23 日) 25名 誕生会 (27 日) 26名 カフェタイム (9 日) 21名 総合防災訓練 (11 日) 27名 華佐りおやつ (12 日) 23名 誕生会 (18 日) 29名 ミードライブ (25 日) 8名 学童交流会「新年会」 (4日) 29名 1月 ミードライブ (8 日) 8名		誕生会 (27 日)	25 名
8月 学童交流会「夏まつり」(16日) 23名 三線クラブ (23日) 3名 学童エイサー、職員エイサー (29日) 26名 9月 手作りおやつ (8日) 27名 遠游会 (11日・14日) 52名 カフェタイム (13日) 24名 学童交流会「歌老会」(19日) 31名 10月 学童交流会「運動会」(10日) 29名 事作りおやつ (18日) 23名 11月 遠遊会 (7日・15日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31日) 23名 遊遊会 (7日・15日) 47名 カフェタイム (14日) 26名 悪生会 (27日) 26名 12月 カフェタイム (9日) 21名 総合防災訓練 (11日) 27名 華作りおやつ (12日) 23名 誕生会 (18日) 29名 学童交流会「所年会」 (26日) 8名 学童交流会「新年会」 (4日) 29名 1月 ミニドライブ (8日) 8名		誕生会 (9 日)	26 名
三級クラブ (23 目) 3名 学童エイサー、職員エイサー (29 日) 26名 事作りおやつ (8 日) 27名 遊游会 (11 日・14 日) 52名 カフェタイム (13 日) 24名 学童交流会「歌老会」(19 日) 31名 誕生会 (28 日) 28名 学童交流会「運動会」(10 日) 29名 事作りおやつ (18 日) 23名 遊生会 (23 日) 30名 カフェタイム (26 日) 24名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23名 遊生会 (7 日・15 日) 47名 カフェタイム (14 日) 26名 事作りおやつ (23 日) 25名 誕生会 (27 日) 26名 事作りおやつ (12 目) 23名 誕生会 (18 日) 27名 事作りおやつ (12 目) 23名 誕生会 (18 日) 27名 事作りおやつ (12 日) 23名 ※合防災訓練 (11 日) 27名 事作りおやつ (25 日) 8名 学童交流会「外年会」(4日) 29名 1月 ミニドライブ (8 日) 8名		カフェタイム (15 日)	24 名
学童エイサー、職員エイサー (29 日) 26 名 手作りおやつ (8 日) 27 名 遠游会 (11 日・14 日) 52 名 カフェタイム (13 日) 24 名 学童交流会「敬老会」(19 日) 31 名 誕生会 (28 日) 28 名 学童交流会「運動会」(10 日) 29 名 手作りおやつ (18 日) 23 名 誕生会 (23 日) 30 名 カフェタイム (26 日) 24 名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 27 名 八代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23 名 遊遊会 (7 日・15 日) 47 名 カフェタイム (14 日) 26 名 事作りおやつ (23 日) 25 名 誕生会 (27 日) 26 名 事作りおやつ (12 日) 23 名 誕生会 (18 日) 27 名 事作りおやつ (12 日) 23 名 誕生会 (18 日) 27 名 事作りおやつ (25 日) 26 名 夢立が治今「(12 日) 23 名 誕生会 (18 日) 29 名 ミードライブ (25 日) 26 名 学童交流会「別サスマスを年会」(26 日) 26 名 学童交流会「新年会」(4 日) 29 名 1月 ミニドライブ (8 日) 8 名	8月	学童交流会「夏まつり」(16日)	23 名
事件りおやつ (8 日) 27 名 遠游会 (11 日・14 日) 52 名 カフェタイム (13 日) 24 名 学童交流会「敬老会」(19 日) 31 名 誕生会 (28 日) 28 名 学童交流会「運動会」(10 日) 29 名 手作りおやつ (18 日) 23 名 誕生会 (23 日) 30 名 カフェタイム (26 日) 24 名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 27 名 八代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23 名 選遊会 (7 日・15 日) 47 名 カフェタイム (14 日) 26 名 事件りおやつ (23 日) 25 名 誕生会 (27 日) 26 名 本社会 (27 日) 21 名 総合防災訓練 (11 日) 27 名 事件りおやつ (12 日) 23 名 誕生会 (18 日) 29 名 ミニドライブ (25 日) 8 名 学童交流会「クリスマス忘年会」(26 日) 26 名 学童交流会「所年会」 (4 日) 29 名 1月 ミニドライブ (8 日) 8 名		三線クラブ (23 日)	3名
9月 遊游会 (11日・14日) 52名 カフェタイム (13日) 24名 学童交流会「敬老会」(19日) 31名 10月 学童交流会「運動会」(10日) 29名 事作りおやつ (18日) 23名 誕生会 (23日) 30名 カフェタイム (26日) 24名 学童交流会「ハロウィン」(28日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31日) 23名 蓮産会 (7日・15日) 47名 カフェタイム (14日) 26名 華作りおやつ (23日) 25名 誕生会 (27日) 26名 12月 カフェタイム (9日) 21名 総合防災訓練 (11日) 27名 事作りおやつ (12日) 23名 誕生会 (18日) 29名 ミニドライブ (25日) 8名 学童交流会「カリスマス忘年会」(26日) 26名 中童交流会「新年会」 (4日) 29名 1月 ミニドライブ (8日) 8名		学童エイサー、職員エイサー (29 日)	26 名
9月 カフェタイム (13 日) 24名 学意交流会「敬老会」(19 日) 31名 10月 学意交流会「運動会」(10 日) 29名 事作りおやつ (18 日) 23名 誕生会 (23 日) 30名 カフェタイム (26 日) 24名 学意交流会「ハロウィン」(28 日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23名 遊遊会 (7日・15 日) 47名 カフェタイム (14 日) 26名 事作りおやつ (23 日) 25名 誕生会 (27 日) 26名 カフェタイム (9 日) 21名 総合防災訓練 (11 日) 27名 事作りおやつ (12 日) 23名 誕生会 (18 日) 29名 ミニドライブ (25 日) 8名 学童交流会「列リスマス忘年会」(26 日) 26名 丁島交流会「新年会」 (4 日) 29名 1月 ミニドライブ (8 日) 8名		手作りおやつ (8日)	27名
学童交流会「敬老会」(19日) 31名 誕生会(28日) 28名 学童交流会「運動会」(10日) 29名 手作りおやつ (18日) 33名 誕生会(23日) 30名 カフェタイム (26日) 24名 学童交流会「ハロウィン」(28日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31日) 23名 蓮遊会 (7日・15日) 47名 カフェタイム (14日) 26名 手作りおやつ (23日) 25名 誕生会 (27日) 26名 カフェタイム (9日) 21名 総合防災訓練 (11日) 27名 手作りおやつ (12日) 23名 誕生会 (18日) 29名 ミニドライブ (25日) 8名 学童交流会「新年会」 (4日) 29名 1月 ミニドライブ (8日) 8名		遠游会 (11 日・14 日)	52 名
誕生会 (28 日) 28 名 学童交流会「運動会」(10 日) 29 名 手作りおやつ (18 日) 23 名 誕生会 (23 日) 30 名 カフェタイム (26 日) 24 名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 27 名 八代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23 名 遊遊会 (7 日・15 日) 47 名 カフェタイム (14 日) 26 名 手作りおやつ (23 日) 25 名 誕生会 (27 日) 26 名 カフェタイム (9 日) 21 名 総合防災訓練 (11 日) 27 名 手作りおやつ (12 日) 23 名 誕生会 (18 日) 29 名 ミニドライブ (25 日) 8 名 学童交流会「カリスマス忘年会」(26 日) 26 名 学童交流会「新年会」 (4 日) 29 名 1月 ミニドライブ (8 目) 8 名	9月	カフェタイム (13 日)	24 名
10月 学童交流会「運動会」(10日) 29名 手作りおやつ (18日) 23名 誕生会 (23日) 30名 カフェタイム (26日) 24名 学童交流会「ハロウィン」(28日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31日) 23名 蓮遊会 (7日・15日) 47名 カフェタイム (14日) 26名 誕生会 (27日) 26名 おフェタイム (9日) 21名 総合防災訓練 (11日) 27名 華作りおやつ (12日) 23名 誕生会 (18日) 29名 ミニドライブ (25日) 8名 学童交流会「新年会」 (4日) 29名 1月 ミニドライブ (8日) 8名		学童交流会「敬老会」(19日)	31名
手作りおやつ (18日)23名誕生会 (23日)30名カフェタイム (26日)24名学童交流会 「ハロウィン」 (28日)27名八代亜紀オンラインコンサート (31日)23名遊遊会 (7日・15日)47名カフェタイム (14日)26名手作りおやつ (23日)25名誕生会 (27日)26名かフェタイム (9日)21名総合防災訓練 (11日)27名手作りおやつ (12日)23名誕生会 (18日)29名ミニドライブ (25日)8名学童交流会「新年会」 (4日)26名1月ミニドライブ (8日)8名		誕生会(28日)	28 名
10月誕生会 (23 日)30 名カフェタイム (26 日)24 名学童交流会「ハロウィン」(28 日)27 名八代亜紀オンラインコンサート (31 日)23 名遺遊会 (7 日・15 日)47 名カフェタイム (14 日)26 名手作りおやつ (23 日)25 名誕生会 (27 日)26 名カフェタイム (9 日)21 名総合防災訓練 (11 日)27 名手作りおやつ (12 日)23 名誕生会 (18 日)29 名ミニドライブ (25 日)8 名学童交流会「クリスマス忘年会」(26 日)26 名学童交流会「新年会」 (4 日)29 名1月ミニドライブ (8 日)8 名		学童交流会「運動会」(10日)	29名
10月 カフェタイム (26日) 24名 学童交流会「ハロウィン」(28日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31日) 23名 藤遊会 (7日・15日) 47名 カフェタイム (14日) 26名 華作りおやつ (23日) 25名 誕生会 (27日) 26名 カフェタイム (9日) 21名 総合防災訓練 (11日) 27名 手作りおやつ (12日) 23名 誕生会 (18日) 29名 ミニドライブ (25日) 8名 学童交流会「クリスマス忘年会」(26日) 26名 学童交流会「新年会」 (4日) 29名 1月 ミニドライブ (8日) 8名		手作りおやつ (18日)	23 名
カフェタイム (26 日) 24名 学童交流会「ハロウィン」(28 日) 27名 八代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23名 遠遊会 (7日・15 日) 47名 カフェタイム (14 日) 26名 誕生会 (27 日) 26名 がフェタイム (9 日) 21名 総合防災訓練 (11 日) 27名 手作りおやつ (12 日) 23名 誕生会 (18 日) 29名 ミニドライブ (25 日) 8名 学童交流会「カリスマス忘年会」(26 日) 26名 プ童交流会「新年会」 (4 日) 29名 1月 ミニドライブ (8 日)	10 🗆	誕生会(23 日)	30名
八代亜紀オンラインコンサート (31 日) 23 名 遠遊会 (7日・15日) 47名 カフェタイム (14日) 26名 手作りおやつ (23日) 25名 誕生会 (27日) 26名 カフェタイム (9日) 21名 総合防災訓練 (11日) 27名 手作りおやつ (12日) 23名 誕生会 (18日) 29名 ミニドライブ (25日) 8名 学童交流会「クリスマス忘年会」(26日) 26名 1月 ミニドライブ (8日) 8名	10月	カフェタイム (26 日)	24名
11月遠遊会 (7日・15日)47名カフェタイム (14日)26名手作りおやつ (23日)25名誕生会 (27日)26名12月カフェタイム (9日)21名総合防災訓練 (11日)27名手作りおやつ (12日)23名誕生会 (18日)29名ミニドライブ (25日)8名学童交流会「クリスマス忘年会」(26日)26名1月ミニドライブ (8日)8名		学童交流会「ハロウィン」(28日)	27名
11月カフェタイム (14日)26名手作りおやつ (23日)25名誕生会 (27日)26名カフェタイム (9日)21名総合防災訓練 (11日)27名手作りおやつ (12日)23名誕生会 (18日)29名ミニドライブ (25日)8名学童交流会「クリスマス忘年会」(26日)26名学童交流会「新年会」 (4日)29名1月ミニドライブ (8日)		八代亜紀オンラインコンサート (31 日)	23名
11月手作りおやつ (23日)25名誕生会 (27日)26名カフェタイム (9日)21名総合防災訓練 (11日)27名手作りおやつ (12日)23名誕生会 (18日)29名ミニドライブ (25日)8名学童交流会「クリスマス忘年会」(26日)26名ド童交流会「新年会」 (4日)29名1月ミニドライブ (8日)		遠遊会 (7日・15日)	47 名
手作りおやつ (23 日)25 名誕生会 (27 日)26 名カフェタイム (9 日)21 名総合防災訓練 (11 日)27 名手作りおやつ (12 日)23 名誕生会 (18 日)29 名ミニドライブ (25 日)8 名学童交流会「クリスマス忘年会」(26 日)26 名1月 学童交流会「新年会」 (4 日)29 名1月 ミニドライブ (8 日)8 名	11 🗆	カフェタイム (14日)	26名
12月カフェタイム (9 日)21 名総合防災訓練 (11 日)27 名手作りおやつ (12 日)23 名誕生会 (18 日)29 名ミニドライブ (25 日)8名学童交流会「クリスマス忘年会」(26 日)26 名1月ミニドライブ (8 日)8名	11 月	手作りおやつ (23 日)	25 名
12月総合防災訓練 (11日)27名手作りおやつ (12日)23名誕生会 (18日)29名ミニドライブ (25日)8名学童交流会「クリスマス忘年会」(26日)26名プ童交流会「新年会」 (4日)29名1月ミニドライブ (8日)8名		誕生会 (27 日)	26 名
12月手作りおやつ (12日)23名誕生会 (18日)29名ミニドライブ (25日)8名学童交流会「クリスマス忘年会」(26日)26名プ童交流会「新年会」 (4日)29名1月ミニドライブ (8日)8名		カフェタイム (9日)	21 名
12月 誕生会 (18日) 29名 ミニドライブ (25日) 8名 学童交流会「クリスマス忘年会」(26日) 26名 学童交流会「新年会」 (4日) 29名 1月 ミニドライブ (8日)		総合防災訓練 (11 日)	27名
誕生会 (18 日) 29 名 ミニドライブ (25 日) 8名 学童交流会「クリスマス忘年会」(26 日) 26 名 学童交流会「新年会」 (4 日) 29 名 1月 ミニドライブ (8 日)	10 🖽	手作りおやつ (12日)	23名
学童交流会「クリスマス忘年会」(26日) 26名 学童交流会「新年会」 (4日) 29名 1月 ミニドライブ (8日) 8名	12 月	誕生会 (18 日)	29名
学童交流会「新年会」 (4日) 29名 1月 ミニドライブ (8日) 8名		ミニドライブ (25日)	8名
1月 ミニドライブ (8日) 8名		学童交流会「クリスマス忘年会」(26日)	26 名
		学童交流会「新年会」 (4日)	29 名
手作りおやつ (12 日) 28 名	1月	ミニドライブ (8日)	8名
		手作りおやつ (12日)	28 名

	カフェタイム (19日)	11 名
	初詣ドライブ (19日)	15 名
	学童交流会「節分、豆まき」 (3日)	24 名
	花見ドライブ (12 日・13 日)	33名
2月	カフェタイム (14 日)	23 名
	学童交流会「誕生会」 (20日)	24名
	手作りおやつ (26日)	26 名
	ひなまつり&三線ショー (4日)	28 名
	ミニドライブ (11 日)	15 名
	居宅・学童 「合同防災訓練」(12 日)	24名
3 月	三線クラブ (14 日)	4名
	カフェタイム (16日)	22 名
	手作りおやつ (19日)	23 名
	学童交流会「誕生会」 ダンス披露 (29 日)	28 名

(職員研修、勉強会等) 例

月	場所	研修・勉強会名	参加人数
4月	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「認知症及び認知症ケアについて」(26日)	9名
5 月	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「尊厳について」(25日)	9名
	オンライン	介護報酬改定対応経営戦略セミナー (13日)	1名
6 月	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「食中毒の予防と蔓延防止対策について」(28日)	9名
	オンライン	BCP 訓練対策セミナー (20 日)	1名
7月	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「介護予防、要介護度進行予防について」(25日)	10 名
8月	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「事故対応、リスク管理について」(22日)	9名
9月	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「緊急時対応について」(28 日)	8名
10 🖽	オンライン	離職防止研修(12日)	1名
10 月	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「プライバシー保護について」(24 日)	9名
	沖縄市産業交流センター	沖縄市高齢者虐待防止講演会 (8日)	1名
	オンライン	介護ロボット活用ミーティング(16日)	1名
11月	オンライン	BCP 作成研修(22 日)	1名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「感染症対策について」(21 日)	10名
	ピジョンセンター	マネジメントスキル講座	1名
	沖縄市民会館	安全運転管理者講習(4日)	1名
12月	おきなわ工芸の杜	権利擁護講師養成研修(14 日)	1名
	オンライン	虐待事故防止の具体策(15 日)	1名

	オンライン	BCP 作成研修(20 日)	1名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「身体拘束、虐待防止について」(25日)	9名
	緑樹苑デイサービス	虐待防止委員会(10日)	4名
1月	オンライン	介護ロボット全国フォーラム(26 日)	1名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「非常災害時の対応について」(26 日)	11 名
2 月	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「接遇について」	名
	オンライン	介護現場における生産性向上フォーラム (5 日)	1名
0 1	緑樹苑会議室	BCP 訓練シミュレーション	1名
3月	ネット配信動画	改定のポイント解説研修(19日)	4名
	緑樹苑デイサービス	部内会議、勉強会「倫理、法令順守について」(30 日)	5名

(その他)

	その他
4 月	辞令交付式 (3 日) 課長等会議 (14 日・28 日) 安全衛生委員会 (20 日)
5月	在宅会議(12日) 安全衛生委員会(18日) 課長等会議(26日)
6 月	デイ・居宅 情報交換会 (9日) 安全衛生委員会 (15日)
7月	安全運転講習会(12 日・14 日) 介護機器・ICT 導入会議(12 日・21 日)
8月	在宅会議(10日) 安全衛生委員会(17日) 介護保険集団指導(21日) 課長等会議(25日) 介護機器・ICT 導入会議(28日)AED 取り扱い説明会(16日)
9月	在宅会議(7日) 安全衛生委員会(21日) 国際福祉機器展(26日~29日)
10 月	認知症介護基礎研修(1 日・7 日) 在宅会議(11 日) 介護機器・ICT 導入会議(17 日) 安全衛生委員会(19 日) 権利擁護推進員養成研修(20 日) 認知症実践者研修(30 日~31 日)
11 月	在宅感染症委員会(6日) 在宅会議(9日) 沖縄県老人福祉施設職員研究大会(11日) 安全衛生委員会(16日) 「サスケ」リモートデモ説明会(17日)
12月	課長等会議 (8日) 在宅会議 (8日) 安全衛生委員会 (21日)
1月	課長等会議(12 日・26 日) BCP 訓練シミュレーション(17 日) 安全衛生委員会(18 日)
2月	研修委員会報告(2日) 在宅会議(2日) 県集団指導(6日) ケアカルテデモ(8日) 次年度収支ヒアリング(9日)稼働率会議(28日)
3月	稼働率会議 (7 日・12 日・21 日・28 日) 課長等会議 (8 日・22 日) 安全衛生委員会 (21 日)

6. 利用状況について

(1)年間実績(利用日数)

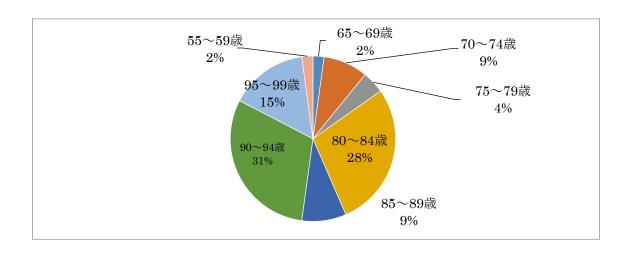
月	4 月	5月	6 月	7月	8月	9月	10 月
日数	25	27	25	26	24	26	26
総合事業	33	21	25	37	33	44	54
要介護	625	628	598	610	589	645	626
延べ人数	658	649	623	647	622	689	680
稼働率	75.2	68.7	71.2	71.1	74.0	75.7	74.7
日平均	26.3	24.0	24.9	24.8	25.9	24.8	26.2
月	11 月	12 月	1月	2 月	3 月	合計	·/平均
日数	26	26	24	25	26	3	06
総合事業	46	49	44	53	59	498,	/ 41.5
要介護	611	594	554	545	576	7201	∕ 600
延べ人数	657	643	598	598	635	7699	/ 641
稼働率	72.2	70.7	71.2	68.3	70.0	71.2	
日平均	25.3	24.7	24.2	23.9	24.4	2	5.2

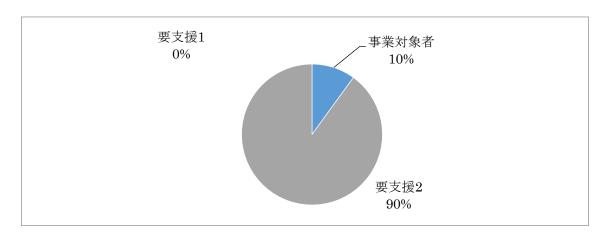
[※]稼働率は定員35名で算出

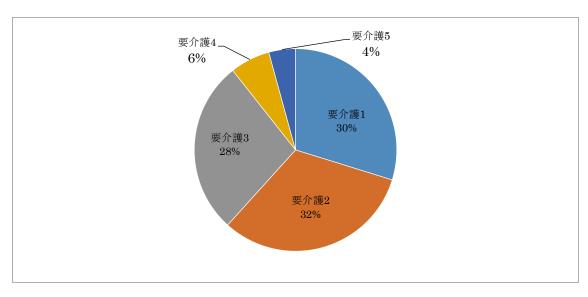
(2) 利用者の性別、要介護度別、年齢別の状況

	事業対象者		要支援1		要支	援2	言	+	総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	松台一百
65~69 歳	0	0	0	0	0	1	0	1	1
70~74歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
80~84 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85~89 歳	1	0	0	0	0	6	1	6	7
90~94歳	0	0	0	0	0	2	0	2	2
95~99 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	0	9	0	0	10
平均年齢	85	0	0	0	0	85. 5	0	0	85. 3

	要介	·護 1	要介	護 2	要	介護 3	要介	广護 4	要介	↑護 5	=======================================	+	₩ △ ⇒1.
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	総合計
55~59 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
70~74 歳	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4
75~79 歳	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	2
80~84 歳	3	4	3	2	0	0	0	1	0	0	6	7	13
85~89 歳	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	4
90~94歳	1	1	2	5	0	4	0	1	0	2	3	13	15
95~99 歳	0	0	1	1	1	4	0	0	0	0	2	5	7
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	7	6	9	3	10	0	3	0	2	16	29	47
平均年齢	80.4	82. 5	87.6	88.5	86	90.8	0	83.3	0	90.5	84.6	86. 2	85. 4







年齢別状況

介護度別状況

(3) 新規・終了状況

		新規		終了							
	要支援	要介護	計	死亡	医療機関	施設入 所	その他	計			
4月	1	1	2	0	0	1	0	1			
5月	1	0	1	0	0	1	1	2			
6 月	0	3	3	0	0	1	0	1			
7月	0	2	2	1	0	0	1	2			
8月	0	4	4	0	0	0	2	2			
9月	2	2	4	1	0	0	0	1			
10 月	0	0	0	0	0	0	2	2			
11 月	0	1	1	2	1	1	0	4			
12 月	0	1	1	0	0	1	0	1			
1月	0	2	2	0	0	0	0	0			
2 月	1	1	2	0	0	0	0	0			
3 月	2	1	3	0	0	1	1	2			
合計	7	18	25	4	1	6	7	18			

緑樹苑居宅サービス事業所(訪問介護・障害福祉)事業報告

1. 総括

利用者の方がその人らしい生活を続けていくことができるよう、利用者や家族の声に耳を傾け一人一人、ひとつひとつのケアに関し「信頼される質の高い丁寧なケア」をモットーにサービスの提供に努めた。必要があれば担当ケアマネ及び支援員に情報を共有することでケアプランの変更につながった。新型コロナ感染症の位置付けが 5 類になったが引き続き感染予防対策について継続し徹底して行ってきた。利用者 1 名、職員 5 名の感染が確認され、就業制限等あったが、代行等で訪問し支援に繋げることができた。

2. 運営状況

介護目標回数 34 回に対し 31 回の実績。総合事業目標 33 回に対し実績 33 回で事業収益 9.5%減。障害福祉サービスにおいては目標 15 回に対し 28 回の実績 30%増となり、介護・障害合わせて 5.9%増となった。障害福祉サービス利用者の状況、状態により訪問回数及び提供時間の拡充が図られたことで利用増となったが、訪問介護では、死亡 2 件、介護負担軽減による施設入所が 5 件、転倒により長期入院 7 件となった。対して新規獲得は 11 件と前年と比べ少ない件数となっている。

3. 事業状況

- (1) サービスの質の向上
- ①提供責任者は月1回利用者宅を訪問し満足度やニーズの確認を行う。
 - →サービス提供責任者が支援訪問時に満足度やニーズの確認を行った。
- ②利用者の状態や状況等を確認し、必要に応じてサービス提供時間の拡充、多様なニーズに も柔軟に対応できるようケアマネージャーや支援員と連携を図る。
 - →日々、変化する利用者の状態を細かくケアマネージャーや支援員に伝え、必要あれば支援の拡充を提案し利用増となったケースもあり各ケアマネージャーや支援員と連携を 図ることができた。
- ③利用者が気持ち良くサービスを利用するために、接遇に対する研修への参加や自己評価 を行い、接遇に対し意識の高いサービスを提供する。
 - →3月に自己評価を実施し、12月に接遇についてネット配信研修を行った。
- (2) 人材の確保・育成
- ①登録ヘルパーに加えパート職員の募集をする。無資格者の応募に対しては資格取得の 助成を検討する。
 - →募集したが、応募者がなく採用できなかった。
- ②訪問介護員個別の研修計画を策定し計画に沿った研修に派遣をすることで、一人ひとりのスキルアップを図る。

- →特定事業所加算算定要件の研修を計画通り行う事ができた。
- ③研修計画(新人・中堅・主任・管理職等)に沿って、ネット配信研修に参加する。
 - →個別研修として、外部への研修に参加した。(多職種連携ケアマネジメント研修、 高齢者虐待防止研修等)
- ④サービス提供責任者は登録ヘルパーと定期的に面談を行い、相談がしやすい環境作りに 努める。
- →月1回、サービス提供責任者と登録ヘルパーの面談を行い、支援のあり方や困難ケース について相談しながら実践した。その後の対応など、情報を共有に努めた。
- ⑤認知症介護実践者研修及び認知症介護リーダー研修に係る経費の助成を行う。
 - →認知症介護実践者研修に申し込みをするが、受講決定に至らなかった。次年度再度、申 し込みを行う。
- ⑥ヘルパー定例会を月1回開催、情報の共有や勉強会、実技等を学ぶことで訪問介護員としての研磨を摘む
- →毎月の定例会で困難ケースについて質問などがあり、実技として取り組み色々な介助 方法を共有し各々で実践した。
- (7)ヘルパー部内会議を月1回開催、情報の共有や事業所の課題に取り組む。
 - →ヘルパー部内会議では効率的な訪問や新規獲得等について検討をした。
- ⑧高齢者・障がい者虐待防止委員会の設置
 - ・利用者の人権の擁護、利用者に対する虐待の禁止等について職員が認識し予防及び早期 発見のため、定期的に委員会を開催する。(年3回)
 - →虐待防止委員会を設置し、委員会メンバーの選出や委員会の開催を行った。
 - (3)業務改善
- ①「ケアプランデータ推進システム」を活用し、経費や作業時間の削減をする。→ケアプランデータ推進システムを活用している支援事業所から情報が得られず、システム活用に至らなかった。
- ②ケアパレット導入について取り組み (スケジュール管理や日誌のデジタル化を検討) →次年度の新介護ソフト導入に伴い、ケアパレット導入を見送った。
- ③利用者に係るスケジュールの見直しを行い、訪問介護員の効率的な派遣を図る。
 - →活動予定表の作成を主任、副主任で確認し効率的な派遣に努めた。
- (4) リスクマネジメント
- ①利用者個々に想定される事故や症状の急変時に訪問介護員が適切な対応が取れるように 部内会議や定例会で対応の確認や変更等あれば対応方法を再検討していく。
 - →8 月に外部講師を招き AED 取り扱い説明会及びデモ機を使用した講習を行った。

②交通法規の遵守

・乗車前には、アルコールチェック及び免許証携帯の確認を行い表記する。

- →出勤時、終業時にはアルコールチェックと免許証の確認を行い記録した。
- ・外部講師を招き安全運転講習会を年1回開催、安全運転への意識を高める。
- →7月に外部講師を招き安全運転講習会を実施。
- ③事故やヒヤリハットが出た時は事業所全体で情報を共有し再発防止に努める。 →ヒヤリハット等あった場合には、直ぐに全職員へ情報を共有し再発防止に努めた。
 - (5) 新型コロナウィルス感染予防対策
- ①職員は出勤時及び利用者宅訪問前に体温を測定し、記録をする。
 - →出勤時、終業時にはアルコールチェックと免許証を確認し記録した。
- ②マスクは着用、フェイスシールド、ガウン及びアルコール消毒液の携帯をする。
 - →全職員、常時マスクの着用。支援に行く前に衛生用品携帯の確認。必要に応じてフェイスシールドを着用した。
- ③ケアに入る前には利用者の体温測定、室内換気、マスク着用を促す。 →利用者へ丁寧に説明し、体温測定、換気、マスク着用を促した。
- ④マニュアルに沿って関係機関と連携を取り感染拡大防止に努める。
- →マニュアルに沿った感染予防対策を行うと共に感染症対策委員会の会議禄も全職員で周 知し感染予防に努めた。
- ⑤感染症対策委員会を開催、その都度変化する感染症対策や予防に努める。
 - →感染症対策委員会を設置し、委員会メンバーの選出や委員会の開催を行った。

5. 行事・活動等

(職員研修、勉強会等)

月	場所		研修・勉強会名	参加人数
4 月	デイサービス	課内勉強会	「令和5年度事業所計画」	17 57
		実技指導	「歩行介助方法」	17名
5 月	デイサービス	課内勉強会	「高齢者福祉施設、事業所における虐待防	17 名
		止」		11 名
6 月	デイサービス	課内勉強会	「食中毒予防の3原則」	17名
		実技指導	「ベット上での洗髪」	
7月	デイサービス	課内勉強会	「安全運転講習会」	17 名
8月	デイサービス	課内勉強会	「心肺蘇生、AED講習会」	17名
		実技指導	「AED 使用方法」	
9月	デイサービス	課内勉強会	「プライバシー保護、個人情報取り扱い」	17 名
		実技指導	「オムツ交換方法」	
10 月	デイサービス	課内勉強会	「ヒヤリハットを分析する」	17 名

11 月	デイサービス	課内勉強会	「認知症の基礎知識」	17 名
		実技指導	「簡易型移乗リフト ささえ手」	
12 月	デイサービス	課内勉強会	「接遇の基本」	17 名
		実技指導	「起床介助」	
1月	デイサービス	課内勉強会	「虐待防止に関する理解」	17 名
2月	デイサービス	課内勉強会	「登録ヘルパー雇用体制の見直し」	16 名
		実技指導	「パワースーツ試用」	
3月	デイサービス	課内勉強会	「活動報告書、旅費精算書の記入方法」	16 名

6. 利用状況について

(1) 年間実績(利用日数)

		介護	保険			障害福祉	サービス		
	訪問	引介護	総合事業	サービス	居宅サ	ービス	移動支援		
	利用	提供	利用	提供	利用	提供	利用	提供	
	者数	回数	者数	回数	者数	時間	者数	回数	
4月	34	431	26	141	11	255. 5	2	10	
5 月	31	424	26	161	12	299	1	5	
6月	31	407	27	149	12	273	1	4	
7月	32	392	26	144	12	296. 5	1	4	
8月	30	369	26	142	12	330	1	4	
9月	34	395	25	135	12	344	1	4	
10 月	31	390	26	149	11	361	1	4	
11月	30	360	26	151	11	363. 5	1	5	
12 月	29	339	25	143	11	365	1	4	
1月	27	332	25	126	11	381	2	6	
2月	24	309	24	133	11	344. 5	2	5	
3 月	24	324	26	132	11	381	2	5	
合計	357	4472	308	1706	137	3994	16	60	
平均	29	372	25	142	11	332	1	5	

(2) 利用者の性別、要介護度別、年齢別の状況

総合事業

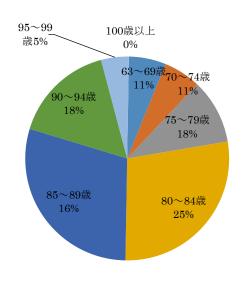
	事業対	事業対象者		要支援1		援2	1	+	総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	松口目
63~69 歳	1	0	0	0	0	0	1	0	1
70~74歳	0	1	0	0	0	0	0	1	1
75~79歳	1	1	1	1	0	1	2	3	5
80~84 歳	1	1	1	2	0	2	2	5	7
85~89 歳	1	1	1	2	1	4	3	7	10
90~94歳	0	1	0	1	1	2	1	4	5
95~99 歳	0	0	0	0	0	2	0	2	2
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	5	3	6	2	11	9	22	31
平均年齢	77	82	81	85	90	87	85	85	83

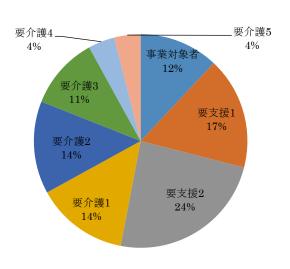
要介護者

女/100日													
	要介	護1	要介	護2	要介	要介護3		護 4	要介	護 5	計臣	+	総合
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
55~64 歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
65~69 歳	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	3
70~74歳	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	1	3
75~79 歳	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	2
80~84 歳	2	3	0	2	1	1	1	1	0	1	4	8	12
85~89 歳	0	2	0	3	1	2	0	2	0		1	9	10
90~94 歳	1	0	0	3	0	1	0	0	0	1	1	5	6
95~99 歳	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	6	1	10	2	5	1	4	1	3	10	28	38
平均年齢	78	81	72	87	84	83	80	84	74	80	77	83	80

年齢別状況

介護度別状況





(3)新規・終了状況

介護保険

		新規				終了		
	総合事業	要介護	二	死亡	医療機関	施設入所	その他	計
4月	0	1	1	0	0	2	0	2
5月	0	1	1	0	1	0	1	2
6月	1	2	3	1	0	1	0	2
7月	0	0	0	0	0	0	1	1
8月	0	1	1	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0
10 月	1	0	1	1	2	0	0	3
11月	0	0	0	0	1	0	1	2
12 月	1	0	1	0	0	1	1	2
1月	0	0	0	0	1	1	0	2
2月	0	0	0	0	0	0	0	0
3 月	2	1	3	0	2	0	0	2
合計	5	6	11	2	7	5	4	18

障害福祉サービス

	新規	終了					
	支援費	計	死亡	医療機関	施設入	その他	
4月	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	1	0	0	0	1
7月	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0
10 月	0	0	0	0	0	1	1
11月	0	0	0	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0
3 月	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	0	0	1	2

緑樹苑指定居宅介護支援事業所 事業報告

1. 総括

これまでコロナウイルス感染症の影響により、利用者との面会を自粛していた施設が多くあったが、令和5年度はコロナウイルス感染症が5類になったことで利用者との面会が緩和され、利用者の居室や相談室で久しぶりに本人との面会が実施できた。サービス事業所内の感染も減少したことでサービスの休業はなくケアプランどおりのサービス利用が実施できた。研修に関してはリモート研修が主体であり、集合研修は1件のみであった。4月には新人介護支援専門1名の配置があり事例検討会や研修等を充実させ新人の育成に取り組んだ。

2. 運営状況

令和5年度は、平均プラン件数が122件(介護106件、予防・総合16件)目標を立て、 年度当初4月から新任介護支援専門員を迎え、前年度同様に各包括支援センター、病院、多 機関の事業所への営業活動を行っていたが、施設入所、長期入院、逝去などで利用者の入れ 替わりもあり、月平均プラン件数が108件(介護92件、予防・総合16件)目標を達成する ことができなかった。4月は特定事業所加算Ⅲでスタートしたが、介護支援専門員が4名揃ったことで5月には特定事業所加算Ⅱを再取得した。

3. 事業状況

(1) サービスの質の向上

〈目的〉

介護保険制度や保健医療サービス及び福祉サービスを提供し居宅において自立した 日常生活を営むことができるよう支援する。

〈内容〉

- ①利用者の能力に応じた自立した日常生活ができるサービス計画の作成に努める。
- →介護保険給付対象サービス以外の福祉サービス等を導入し利用者が自立した生活を送れるように居宅サービス計画の作成に努めた。
- ②利用者の重度化防止に繋がるように、地域資源を有効活用できるように努める。
- →利用者が地域資源を活用しサービスを利用することで住み慣れた地域で過ごすよう支援ことができた。
- ③各関係機関と連携を密に行いニーズに沿ったケアマネジメントが行えるように努める。
- →徘徊症状がある利用者を市町村で行っている認知関係サービスや民間事業者による GPS 端末サービス等を導入し、地域包括支援センターを始め各関連機関との連携を密 に行うように努めた。
- ④法人内外の研修に参加し、専門職のスキルアップを図り利用者支援に繋げる。

- →各研修会に参加し令和6年介護保険改正で義務化される各種制度や地域のインフォーマルサービスについて習得した。法人内研修はお茶の水医療・福祉サポートの研修に参加し専門的な知識の習得に努めた。
- ⑤24 時間連絡体制を確保し、必要に応じて利用者等の相談に対応努める。
- →本人、家族、各関係機関から夜間や休日に 20 件電話相談を受けサービス調整や緊急時 等の連絡に対応した。

(2) 人材の確保及び育成

〈目的〉

研修への参加及び自己研磨を行う事により、専門職としての質の向上に努める。経験差のある介護支援専門員が、共に専門職としてやりがいを持てる環境づくりや育成に努める。

- ①各介護支援専門員の課題と目標を設定した個別研修計画を作成、実施する。
- →各介支援専門員の経験値に合った「目標」を踏まえた研修計画を策定した、計画に沿って研修に派遣した。
- ②週1回以上、伝達会議・勉強会を行い、事業所全体で問題の解決方法を検討する。
- →事利用者に関する情報共有・問題解決策・サービス提供等の意見交換や相互に情報交 換を行うとともに、問題解決方法を検討した。
- ③他法人居宅介護支援事業所との協動勉強会を開催し多角的な視点で問題解決に努める。
- →6月に他法人居宅介護支援事業所と事例検討会を実施し多様な視点や取り組みなど、 新しい気付きが得られ問題解決策を学ぶことができた。
- ④月1回、ケアプラン点検を行い、運営基準遵守・プラン適正化を確認する。
- →月1回介護支援専門員相互で書類を点検し、運営基準遵守・プランニングの質の向上 に努めた。
 - ⑤事業所内で解決が困難な事例は、地域包括支援センターにその相談し、「個別地域ケア会議」に事例提供し連携して問題解決に繋げる。
- →11 月に自立支援会議に参加し利用者が住み慣れた地域で生活を続けていくために様々な分野の専門職と事例を検討し問題解決に努めた。介護予防を重視した自立支援に資するケアマネジメントの習得に努めた。
- ⑥介護支援専門員実務者研修を受け入れ、介護支援専門員人材獲得に繋げる。
- →新型コロナウイルス感染症予防対策のため、介護支援専門員実務研修にかかる臨時的な取扱い(実習免除)になり、実習生の受け入れがなかったことから人材確保に繋がらなかった。

(3)業務改善

〈目的〉

ICT を活用し業務の効率化と経費削減を図る。

〈内容〉

- ①「ケアプランデータ連携システム」を活用し、経費や作業時間の削減を図る。
 - →各種サービス事業所では1事業所しか利用していないため、活用を図ることができな かった。
- ②利用者や家族等へタブレット端末を活用し写真や動画にてわかりやすく説明する。
 - →介護保険手帳や負担割合証、住宅改修等はタブレット端末を活用し写真を撮り、利用 者や家族に説明照会ができ、業務の効率化に繋がった。

(4) リスクマネジメント

〈目的〉

事故・トラブルを未然に防止し・利用者・家族等と良好な関係を構築し、安心してサービス提供が出来るように支援する。

〈内容〉

- ①本人や家族へ受けられるサービスや利用料金など理解しやすいように提案し説明する。
- →介護サービス利用前に食事代、加算等を書面で提示説明することで誤解が生じないように努めた。
- ②個人情報ファイル等については施錠できる書棚に保管し情報漏洩に努める。
- →利用者のファイルは鍵付き書棚への収納等、管理を強化し個人情報漏洩防止に努めた。
- ③ヒヤリハット・事故・苦情相談には敏速に対応し事業所内で周知及び改善に向けて話 し合いをする。
- →ヒヤリハット1件・事故0件・苦情0件、ヒヤリハットが発生した時は事業所内で利 用者情報伝達会議を開催し全員で話し合い再発防止に努めた。
- ④毎朝車両点検やアルコールチェック及び運転免許証の確認を実施し、表記する。
- →車両事故 0 件。毎朝、車両点検を実施し支障がある場合は修理等の対応に努めた。出勤 前にアルコールチェック・運転免許証の確認を実施し飲酒運転防止・運転免許の不携帯 防止に努めた。確認後はチェックシートに記載し保管している。
- ⑤外部講師を招き安全運転講習会を年1回開催し、安全運転への職員の意識を高める。
- →7月に外部講師を招き安全運転講習会を開催し、安全運転に対する意識を高めた。
- ⑥BCP 策定の支援等を目的に委員会、 研修、訓練(シミュレーション)等を実施。
- →10月、11月、1名、業務継続計画研修に参加。BCP 査定・備蓄品リスト・利用者安否 確認シートを作成した。担当を配置し1月、3月に在宅サービスにて委員会、訓練を 実施し業務の優先順位・日頃の周知等を定期的に見直すことを認識した。

- ⑦虐待の防止委員会の開催、指針の整備、研修の実施、担当者を定める。
- →11 月に高齢者虐待防止研修に全職員参加、1 月、1 名参加。2 月に権利擁護研修に1 名参加した。指針の整備、担当者を配置、1 月に虐待防止委員会を開催し高齢者虐待 防止策の周知徹底に努めた。

(5) 感染症予防対策・取り組み

〈目的〉

新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染対策及び感染時のマニアルを職員が十分に理解し、その徹底を図り感染予防を行う。

〈内容〉

- ①日々の健康管理を図り、感染しないさせない取り組みを行う。
- →出勤前に検温し熱症状や倦怠感がみられる場合は出勤を取り止める等、早期対応に努めた。
- ②検温や手洗いマスク着用・消毒・換気・三密対策を行う。
- →出勤時、休憩前に検温ならび体調確認、マスクの着用、事業所内の消毒・換気を徹底 し感染防止に努めた。
- ③訪問時は利用者、家族の健康状態を確認し訪問する。
- →訪問前に利用者や家族の体調等を確認、体調不良時は訪問の日程を変更した。
- ④感染状況に応じてテレワークを導入し、感染症拡大対策及び事業所の継続を図る。
- →事業所内での感染者は0件のため、テレワークは実施していない。
- ⑤感染対策委員会の開催、勉強会、研修への参加を実施する。
- →10 月、11 月に 1 名研修に参加。担当者を配置し 11 月に感染症対策員会を開催し感染 予防対策を徹底した。

(職員研修)

月	場所・日	研修名	参加人数
4月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン(13 日)	令和 5 年度 沖縄県介護支援専門員協会 沖縄市支部 代表委員会 【運営指導】	1人
5月	緑樹苑会議室 オンライン (31 日)	令和 5 年度 沖縄県主任介護支援専門員 更新研修	1 人
6月	緑樹苑会議室 オンライン (7日.8日)	令和 5 年度 沖縄県主任介護支援専門員 更新研修	1 人
	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン(22 日)	沖縄県介護支援専門員協会総会・記念講 演【令和6年度介護報酬改正】	3 人
7月	緑樹苑会議室 オンライン (5日.6日.26日.27日)	令和 5 年度 沖縄県主任介護支援専門員 更新研修	1人
8月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン(24 日)	令和 5 年度 沖縄県介護支援専門員協会 沖縄市支部 代表委員会	1 人

		【地域活動】	
9月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (27 日)	令和5年度 沖縄県介護支援専門員スキルアップ研修【令和6年度介護報酬改定 に向けた準備】	1人
10 月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (12 日)	令和 5 年度 沖縄県介護支援専門員協会 沖縄市支部 代表委員会【BCP/感染症対 策】	1人
11 月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (6 日)	令和5年度 沖縄県介護支援専門員スキ ルアップ研修【BCP】	1 人
	沖縄市産業交流センター (8 日)	令和 5 年度 沖縄市高齢者虐待防止講演 会	4 人
12 月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (8.12 日)	お茶の水ケアサービス学院 【感染症予防とまん延防止】	4 人
1月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン (15 日)	お茶の水ケアサービス学院 【虐待防止について】	1 人
2月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン(13 日)	お茶の水ケアサービス学院 【権利擁護について】	1 人
3月	緑樹苑居宅介護支援事業所 オンライン(12 日)	令和 5 年度 沖縄県介護支援専門員協会 沖縄市支部 代表委員会 【ヤングケアラーへの理解】	1人

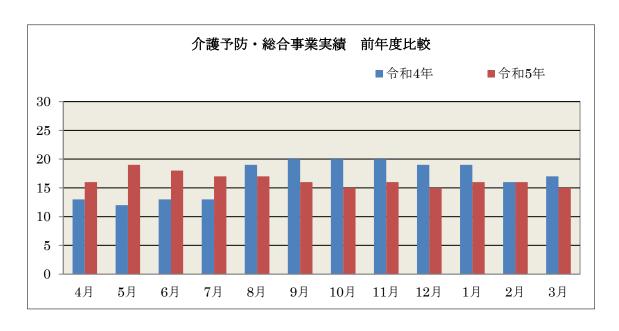
(定期部署内勉強会)

月	Ħ	勉 強 会 名	参加人数
4月	4日.10日.18日.25日	事例検討会	4 人
5月	2 日.9 日.16 日.23 日.30 日	事例検討会	4 人
6月	6 日.13 日.27 日	事例検討会	4 人
7月	4 日.10 日.18 日.25 日	事例検討会	4 人
8月	1日.8日.15日.22日.29日	事例検討会	4 人
9月	5 日.12 日.19 日.26 日	事例検討会	4 人
10 月	3 日.10 日.16 日.24 日.31 日	事例検討会	4 人
11月	7日.14日.21日.28日	事例検討会/地域ケア会議	4 人
12 月	5 日.12 日.19 日.26 日	事例検討会	4 人
1月	5日.9日.16日.23日.30日	事例検討会	4 人
2月	7日.13日.20日.27日	事例検討会	4 人
3 月	5 日.12 日.19 日.26 日	事例検討会	4 人

利用状況について

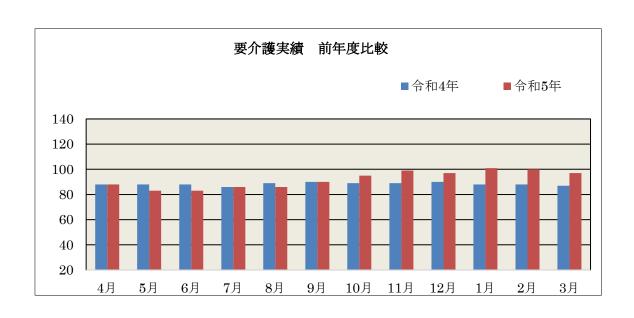
(1)年間実績 (介護予防・総合事業)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月
介護予防	14 人	16 人	15 人	16 人	15 人	13 人	12 人
総合事業	2 人	3 人	3 人	1人	2 人	3 人	3 人
実績人数	16 人	19 人	18 人	17 人	17 人	16 人	15 人
月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合	計
介護予防	14 人	13 人	14 人	14 人	13 人	169	人
総合事業	2 人	2 人	2 人	2 人	2 人	27 人	
実績人数	16 人	15 人	16 人	16 人	15 人	196	人



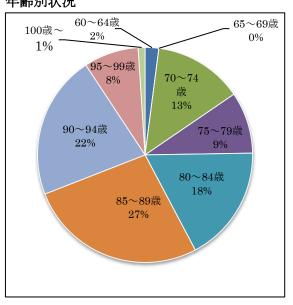
(2) 年間実績 (要介護度 1~5)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月
利用者数	90 人	84 人	85 人	87 人	87 人	93 人	95 人
実績人数	88 人	83 人	83 人	86 人	86 人	90 人	95 人
月	11 月	12月	1月	2月	3 月	合	計
利用者数	99 人	99 人	102 人	102 人	100 人	1205	5 人
実績人数	99 人	97 人	101 人	100人	97 人	1105	5人

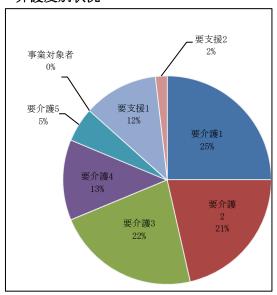


(3) 利用者性別・要介護度別・年齢別状況(要支援1・2事業対象者)R6年3月現在

年齢別状況



介護度別状況



年齢	要介	護 1	要介	護 2	要介	護 3	要介	護 4	要介	護 5	言	+	総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
55~59 歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
60~64 歳	0人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	2 人	2 人
65~69 歳	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
70~74 歳	3 人	2 人	0人	1人	2 人	2 人	1人	0人	2 人	0人	8人	5人	13 人
75~79 歳	0人	0人	1人	2 人	1人	1人	0人	2 人	1人	1人	3 人	6人	9人
80~84 歳	3 人	3 人	1人	3 人	2 人	3 人	1人	1人	0人	0人	7人	10 人	17 人
85~89 歳	4 人	6人	1人	6人	2 人	4 人	1人	2 人	0人	0人	8人	18 人	26 人
90~94 歳	3 人	3 人	3 人	2 人	1人	5人	0人	4 人	0人	0人	7人	14 人	21 人
95~99 歳	0人	1人	1人	2 人	0人	1人	0人	2 人	0人	1人	1人	7人	8人
100 歳以上	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	1人	1人
計	13 人	15 人	7人	17 人	8人	17 人	3 人	11 人	3 人	3 人	34 人	63 人	97 人

沖縄市地域包括支援センター西部北 事業報告

1. 総括

西部北圏域(八重島・センター・胡屋・園田・中の町)の総人口は14,665人・高齢者数4,388人、高齢化率29,9%、後期高齢化率15,3%で高齢化率・後期高齢化率の割合いが他圏域と比較して高い圏域となっている。

令和5年度は地域ケア会議・総合相談等から①認知症高齢者の支援体制②身寄りのない高齢者の支援(住宅問題・施設入所・金銭管理等)③フレイル介護予防④8050問題⑤病院受診付き添い等の個別課題に取り組んできた。個別の対応から見えてきた課題として①地域住民へ認知症に関する情報や理解が必要。②緊急連絡先、保証人のいない高齢者の住まい確保。③住民に対し介護予防や重度化防止の意識を高める。④精神疾患等の重層的な取り組みが必要なケースが増えている。⑤生活保護世帯の支援体制の構築等の種が挙がっており、関係機関(病院・保護課・地域支援担当・民生委員・警察・保健所等)と連携、強化を図りながら継続対応する必要がある。

広報誌「ぬちぐすい新聞」の発行と法人のHPや広報誌「竹とんぼ」を活用し西部北圏域の各自治会福祉連絡会、老人クラブの集会、地域住民や事業所、関係団体の定例会や第2層協議体に参加し、法人事業の活動状況や包括支援センター事業内容・地域資源の情報等を発信・周知を行った。

✿各自治会 <福祉連絡会>

	胡屋	中の町	センター	園田	八重島
4月	生活支援 (SC)	SC	SC・認知支援	SC	SC
5月	SC·認知支援	SC・認知支援	SC・実調	SC	SC
6月	SC·認知支援	SC・実調	SC・実調	SC・実調	SC/実調
7月	実調	SC	実調	SC	SC
8月		SC・認知支援	SC	実調	
9月	実調		実調	実調	
10月			実調	実調	
11月		実調		SC	
12月	SC	SC	SC·認知支援	SC	SC
1月		実調	SC	SC	
2月	社福・実調	SC	SC	SC	SC
3月	SC・実調	SC	SC・実調	s c・実・社・看	
合計	8件	11件	11件	12件	6件

✿第2層協議体

	開催件数	開催月
胡屋	0 件	_
中の町	0 件	_
センター	1件	3 月
園田	1 件	3月
八重島	0 件	_

2. 運営状況

令和5年度におけるプラン件数は包括西部北の件数は1,576件、委託先の件数は540件となった。対前年度の件数値は包括西部北の件数は42件増加、委託先の件数は114件増加となった。新規契約者107人。(短期集中リハビリ教室)は13人。要介護が見込まれるケースや区分変更のケースについては委託事業所での調整を行った。西部北プラン件数・実績(前年度比較で156件増加)となった。

3. 事業状況

- ①地域包括支援センター西部北の地域ネットワーク構築について、ぬちぐすい講座・見守り サポーター養成講座の修了者に声かけし、今後の地区内の取り組みについて意見交換を 実施し関係者、協力者の結成を図っていく。
- ⇒ぬちぐすい講座・見守りサポーター養成講座の修了者を中心に週1回の開催(毎週木日: 午前10時~11時30分・ケアハウスはいびすかす会議室)、近隣の住民(高齢者5人~6人)で開催した(41回)。
- ②地域の課題の把握について、市役所からの高齢者の統計を共有し自治会ごとの高齢化率 と実態把握調査のヒアリング等の情報から福祉ニーズを把握し抽出した課題については 市役所・自治会・民生委員等で協議解決を図る。
- ⇒「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」の一環として、中の町自治会、園田自治会で実施した。圏域内の特定健診率:平均以下の地区(5自治会)にて、健診率の向上と介護予防継続・周知を目的に園田・中の町自治会で開催した。
- ③職員の人材育成について、法人の研修、外部、有料研修や WEB を用いた研修を積極的に参加できるように受講環境等の整備を進める。
- ⇒法人関係:安全運転講習会に参加。市役所の研修、外部の研修に参加した。介護支援専門 員、社会福祉士、認知症地域支援推進員、SC 関連等に参加した。

- ④職員人材育成の将来的な確保として、大学、専門学校の実習生を受け入れ法人の各介護施設・介護事業所(特養ホーム・ケアハウス・通所介護・居宅介護支援事業所)と連携し学生の教育、育成に取り組む。
- ⇒沖縄国際大学から 7 月に相談援助実習の受け入れ相談を受けたが、感染防止による面会制限が継続中等の理由から特養(施設長)と調整し見送った。具志川看護学校・地域在宅看護論実習 I として、7月6名。在宅看護施設実習として、9月4名、10月2名の実習を行った。

4. 業務内容

- (1) 総合相談支援業務
- ① 地域におけるネットワークの構築

初期段階での相談対応を行い中核的機関としての役割として必要に応じて関係機関と連携し様々な相談内容について対応した。専門職によるチーム支援を必要とする高齢者を見出し保健・医療・福祉・介護サービスや医療サービス等を適切に利用できるように、介護事業者、医療機関、民生児童委員協議会、社会福祉協議会等との関係機関と連携し高齢者支援のためにネットワーク構築を図った。

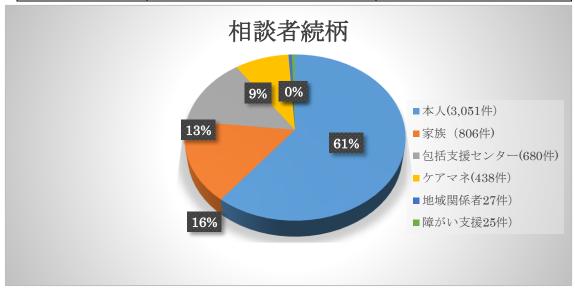
② 介護予防等把握

実態把握	延べ件数	実人数
令和4年度実績	547 人	331 人
令和5年度実績	506 人	493 人

沖縄市介護保険課からの訪問リストを基に 65 歳以上、かつ介護認定を受けていない独居高齢者、高齢者のみの世帯、同居世帯を訪問し基本チェックリストや介護予防が必要な高齢者の把握(訪問・来所・電話)を行った。前年度同様に継続訪問業務とポスティング、不在時は不在票・基本チェックリスト・返信用封筒を投函し把握に取り組んだ。訪問後の繋ぎとして、一般介護予防事業、通いの場、三職種、生活支援コーディネーター、関係機関に実態把握の啓発活動の一環として生活支援コーディネーターと連携しながら、地域の通いの場やサロン等でも基本チェックリストを実施した。

③ 総合相談支援

総合相談件数	実人数	延べ件数
令和4年度実績	2, 299 人	6, 103 件
令和5年度実績	2, 271 人	6, 103 件





相談実績は(相談者続柄別):本人が最も多く、順に家族、地域包括支援センター、介護支援専門員、地域関係者が多かった。(相談内容別):介護保険サービスに関すること、医療機関に関すること順に認知症の高齢者、在宅福祉サービスに関すること、住宅に関することの相談が多かった。本人、家族、地域からの相談を円滑に受け入れ介護保険、適切な制度、関係サービスにつなぐとともに継続的な相談支援を行った。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の利用促進 ②高齢者虐待への対応③消費者被害の防止

高齢者虐待の防止及び対応

虐待認定	虐待認定に至らなかった	虐待ではないと判断した	相談件数
0	2件	0	8件

老人福祉施設等への措置の支援

老人福祉施設等への措置の支援	支援件数
0	0

相談・通報者の内訳:本人3件、家族2件、介護支援専門員3件。虐待の対応においては早期発見・早期対応とし「高齢者虐待対応のマニュアル」に基づき速やかに事実確認・状況を把握し関係機関と連携を図り対応した。虐待認定に至らないケースについては、本人、家族、担当ケアマネ、関係機関を通じ状況確認しながら、介護保険サービスの追加、短期施設入所や継続的な見守り・訪問等により虐待防止に努めた。

権利擁護業務の内、①成年後見制度相談が15件となっている。身寄りない高齢者の病院 入退院の調整、病院同行受診、不動産調整(家財処分)、金銭管理支援等を行った。③消費 者被害の防止・消費者トラブルの情報発信は沖縄県消費生活センターのパンフレットを西 部北事務所に回覧・掲示・案内を行った。

(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

基幹型包括支援センター、各地域型包括支援センターと協力し、介護支援専門員の資質向上を図るための研修会や勉強会を開催した。介護支援専門員からの相談(来所・電話)に対して、関係機関(インフォーマルサービス含む)との連携体制構築支援、介護支援専門員同志のネットワーク構築支援等を行った。介護支援専門員に対する困難ケースには関係機関や主治医との連携、個別地域ケア会議、同行訪問を行い包括的・継続的ケアマネジメントを介護支援専門員が実践できるようにサポートを行った。

(4) 在宅医療・介護連携推進事業に関する協力業務

中部地区医師会(在宅ゆい丸センター)主催による「在宅医療・介護連携推進会議」への参加や多職種研修会に参加した。医療と介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう現在安心した暮らしが続けられるよう、また本人や家族の意向を尊重した医療と介護のサービスが提供、発生する地域課題の解決に向け、効果的な取り組みを実施するために現状把握を目的としたアンケート調査に参加し多職種連携の体制構築を図った。

(5) 生活支援体制整備事業に関する協力業務

自治会の福祉連絡会、老人クラブ定例会、高齢者サロン、地域の集いの場にて地域住民と 情報交換を行い必要時「第2層協議体」を開催し、課題解決に向けて住民や関係者と協議を 行った。「がんじゅうポイント活動」は活動者のマッチィング件数3件依頼を受けた。

子どもの居場所・子ども食堂が受け入れ機関登録が可能になり、作業内容が幅広くなった。 依頼内容としては、囲碁の相手や子ども達への昔ながらの遊びがあったがマッチング調整 ができなかった。

(6) 介護予防ケアマネジメント

日常生活総合事業対象者及び要支援者に対して、介護予防ケアマネジメントを行い高齢者が有する能力の応じ自立した生活が営むことができるように取り組んだ。地域資源等インフォーマルサービスも含めた必要なサービスをマネジメントしている。新規の対象者には短期集中リハビリ教室・ハイサイ訪問等へ繋げられるように支援を行った。

サービス調整会議から107件を自立支援に資したサービス調整を行っている。介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントの業務一部委託については新規の利用者を優先的に調整した。ケアプラン確認の中でサービスの必要性やインフォーマルサービス等の検討等を含め確認を行った。介護予防ケアマネジメントが自立支援に資するよう自立支援地域ケア会議を開催した。

(7) 指定介護予防支援事業

プラン件数	ケース件数
令和4年度実績	1,534 (予防760+総合774)
令和5年度実績	1,576人 (予防808+総合768)

地域包括西部北 (プラン件数)

	初回		継続		合計	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
事業対象者	4	8	210	191	214	199
要支援1	21	22	524	537	545	559
要支援2	15	45	749	769	764	814
計	41	76	1, 492	1,500	1, 533	1,576

委託先(プラン件数)

	初回		継続		合計	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5
事業対象者	1	0	6	10	7	10
要支援 1	4	5	155	155	159	10
要支援 2	13	22	246	347	259	369
計	18	28	408	512	426	540

(8) 認知症総合支援事業

認知症の相談支援や支援体制の構築として、対象者の自宅訪問や病院受診の対応を行い 相談支援、家族への支援、認知症初期集中支援チーム会議等に参加した。

認知症に関する普及啓発活動として認知症パネル展(1回)を開催した。認知症の人を支援する関係者間の連携として認知症サポーター養成講座(3回)を開催した。

自宅訪問	101件	病院受診		11件
認知症パネル展				
沖縄銀行コザ支店 3	月1日~3月15日			
認知症サポーター養品	戈講座			
中の町自治会 6月	月 6 日	ろ・は・す	(はいびすかす)	3月28日
沖縄市老人クラブ	車合会 9月28日			

(9) 地域ケア会議推進事業

総合相談、介護予防ケアマネジメント、介護支援専門員からの相談、認知症高齢者に関する相談等に対し個別事例の解決を目的とした個別地域ケア会議や自立支援方法や課題の解決策を検討する自立支援地域ケア会議を開催した。

地域の高齢者が健康でその人らしい暮らしができるように、「介護(認知・うつ病・運動機能)予防について、地域住民としてどのように介護予防に取り組めるか」をテーマに自治会会長、老人会長、民生委員、住民、地域関係者で圏域別地域ケア会議を開催し、沖縄市介護予防・日常生活支援総合事業の案内を行った。

地域ケア会議の回数

個別地域ケア会議	圏域別地域ケア会議
4回	1 回

自立支援地域ケア会議の回数

西部北主催	基幹型主催
5 回	2 回

(10)一般介護予防事業

一般高齢者に対する支援は、介護予防として住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らせせるために沖縄市の介護予防教室(高齢者パワーアップ教室、高齢者元気教室)や自治会のいきいき百歳体操に参加を推奨した。

その他・高齢者在宅福祉サービス

高齢者通院支援サービス事業、緊急通報シシテム設置事業、高齢者見守り体制整備(食の自立支援事業・ 配食サービス)に繋げた。

高齢者通院支援サービス事業	12件
緊急通報システム設置事業	3 件
高齢者見守り体制整備事業(緊急医療情報キット配布)	0 件
食の自立支援事業 (配食サービス)	1 2件
ゆんたくコール	3 件

在宅福祉サービス事業及び生活支援に係るサービス事業は、介護予防等把握業務の実態 把握調査の繋ぎから一般介護予防事業、サロン、関係機関(保護課、社会福祉協議会、介護 支援専門員、障がい者相談員、病院相談員、他支援機関)に情報共有し連携を行った。在宅 福祉サービス調整会議から一人暮らしの高齢者・高齢世帯の方に対し日常生活支援(通院サ ービス事業、配食サービス事業、見守り、安否確認等)の支援に繋げた。

みどり学童クラブ 事業報告

1. 総括

令和 5 年度は新型コロナウイルスが 5 類になったことで感染症対策が緩和され、小学校と学童クラブでは 5 類以降のマスク着用については保護者や児童に委ねたが、ほとんどの児童がマスクを外しお互いの表情を見ながらのコミュケーションに戻った。 7 月に新型コロナウイルスに感染した児童が 1 名、10 月~2 月にはインフルエンザが流行し児童 13 名が感染した(インフルエンザによる学級閉鎖 1 クラス)。今年は積極的に地域に出掛け、自治会主催の餅つき大会や商店街のハロウィンまつり、プロバスケットチームの優勝メダル贈呈式等に参加し新しい体験ができた。

2. 運営状況

4月は45名で事業開始、令和6年3月時点の児童数は41名であった。

事業目標の「年度を通し児童在籍 40 名以上を目標とする」は達成することができた。新 児童の申し込みが定員数を上回ったことから高学年の児童については受け入れを継続する ことができず退会となった。コロナ感染対策・コロナ特例交付金はなかったことから補助金 は令和 4 年度より減になったが 1 年生から 3 年生までの児童が 9 割を占め前年度より保護 者負担分の収入は増となった。退会は 4 名(部活動入部 2 名・転校 1 名・家庭保育 1 名)、 夏休みのみの利用希望 2 名(1 年・3 年生)があり受け入れをした。

3. 事業状況

(1) サービスの質の向上

〈目的〉

どの学年の児童にとっても学童クラブが楽しく安心感のある居場所になるような環境作りに取り組む。

〈内容〉

- ①施設環境について
- ・出入り口壁に児童の作品や写真等を掲示し保護者に活動内容が伝わるようにする。
- →児童と指導員が折紙等で作品を作り、出入り口壁に装飾をした。児童の活動写真を多く掲示し学童クラブでの活動状況を保護者に伝えた。
- ・学年に応じて様々な遊びが展開できるように環境を整える(ゲーム・図鑑・本等)
- →児童に人気のある遊びを聞き取りサッカーゲーム遊びや電子ピアノ等を購入した。

②おやつについて

- ・アレルギー等を確認し配慮する、補助食として満足度の高いおやつを提供する。
- →児童のアレルギー状況を指導員全員が把握した、アレルギー反応があるおやつに対して

は他のおやつで対応をした。

③交流について

- ・同世代や異年齢との交流や遊びを通し、自主性・協調性及び創造性を培う。
- →1 年生~4 年生でチーム編成をしたバスケットボールや野球、縄跳び等の遊びが活発に行 えた。異年齢との交流を通して自主性・協調性や創造性を培うことができた。
- ・高齢者と児童がふれあう交流の場を月1回計画、交流を通し「やさしさ・人の気持ちを汲み取る力」を培う。コロナ禍では、リモート交流等可能な交流を検討し実施する。
- →コロナ感染状況を確認しながらデイサービス内で月 1 回を目標にしたが(7 月・11 月未 実施。8 月・10 月・2 月は 2 回実施)

④家庭や学校・関係機関との連携について

- ・必要に応じ小学校との報告会を開催し、信頼関係の構築や、情報共有をすることで児童を 多角的な視点から支援を行う。
- →4月に諸見小学校・室井川小学校を訪問し教頭や校長との顔合わせを行ったがその後はコロナの影響により学校側から訪問自粛依頼あり訪問が出来なかった、必要時は教頭先生や担任の先生と送迎時や電話で児童の様子を報告し情報共有や支援方法を検討した。
- ・学童クラブ便り(1回/月)を発行する。ブログを更新し学童の様子を発信する。
- →学童クラブ便りは月 1 回定期発行し、保護者や子ども家庭課に届けた。ブログは 1 年間で 36 回更新した、ブログを通し学童クラブの活動状況を発信した。

⑤ニーズの把握について

- ・保護者に対して年1回「満足度アンケート」実施し結果を参考に改善に努める。
- →保護者を対象にアンケートを実施した、「満足」との返答が多く意見や要望はなかった。 要望や意見がいいやすいアンケート方法の検討が必要。

(2)人員の確保及び人材育成

〈目的〉

指導員として専門的な知識と意識を持ち、専門性のある支援に努める。

〈内容〉

- ①指導員のスキルの向上について
- ・沖縄市や県が主催する研修に積極的に参加し、専門職としてのスキルアップを図る。受講後は他の指導員と研修の学びや知識を共有する。
- →沖縄市主催キャリアアップ研修(年3回)と障害児支援研修(年2回)に各担当を派遣し 専門職の学びや知識を得た、研修後は部内会議で他職員と情報共有を行った。
- ・部署内会議・申し送り等をより充実させ、情報共有やチームワークを強化し、児童一人ひ

とりの指導がより細やかに行えるように努める。

→気づきがあった時はノートに記入し申し送りを行った、必要時はその都度情報を伝達することで職員が情報を共有することで細やかな対応が行えた。

②指導員の育成について

- ・経験値に合った研修計画を策定しステップアップを図り、やりがいを高める。
- →それぞれの経験値に合わせた研修計画を策定した、市の研修案内に沿って支援員 3 名が 研修に参加した。沖縄県支援員認定資格研修(実務経験:2 年及び 2000 時間)に指導員 1名を派遣し支援員認定資格を取得した。

(3)業務改善

〈目的〉

・分担する業務を明確化し職員が休み時でも誰でもスムーズに業務を行うことができる。 〈内容〉

①業務分担をする

- ・職員の変動(復職・退職等)も業務が支障なく行えるように業務分担をする。
- →業務を分担した(おやつ購入・学童だより作成・ブログ担当等)ことで担当が明確になり スムーズに取り組むことができた。

(4) リスクマネジメント

〈目的〉

多様な年齢や活動の多い児童が安全に安心した居場所となるようにリスク管理を徹底し事 故等がないように取り組む。

〈内容〉

- ①毎日の車両点検やアルコールチェック及び運転免許証の確認を実施し、チェック簿に記録、安全運転への意識を高め事故防止を図る。
- →車両点検や安全運転に対し意識を高め、事故・違反はゼロであった。
- ②児童が来る前に、毎日クラブ内や園庭を点検し危険物等の確認をする。
- →児童の登園前にはクラブ内の点検を行い安全に活動が行えるようにした。
- ③ヒヤリハットが出た時点で、職員間で早急に協議し、事故に繋がらないようにする。 →ヒヤリハットが出た時点で指導員全員が情報を共有し事故に繋がらないようにした。
- ④法人内の防災訓練への参加や当該クラブの防災・防犯マニュアルに沿った訓練を年 2 回 以上実施する。

- →デイサービス協働の防災訓練に 1 回参加した。学童クラブのみで防災訓練と防犯(不審者) 訓練を各 1 回行い不審者や防災に対しての意識や関心を高めた。
- ⑤警察や学校と連携し不審者等の情報交換や実践的な対処法について確認する。
- →小学校からのメーリングや子ども家庭課からFAXやメールで届いた情報を職員間で共有した。

(5) 感染症予防対策・取り組み

〈目的〉

新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染防止対策及び感染時のマニュアルを十分に 理解し、感染予防を図る。

〈内容〉

- ①児童に感染予防の指導を継続し行う(手指衛生・消毒・三密の回避等)
- →指導員が感染症について正しい知識を持ち、児童に感染症予防の指導を行った、コロナ感染児童は7月に1名、感染拡大はなかった。
- ②感染症に関し小学校や沖縄市こども家庭課と情報共有する。
- →インフルエンザの感染による学級閉鎖の連絡を受け学童クラブでも同じ対応をしたことで感染拡大はなかった、感染症の発症については土・日曜日も子ども家庭課と連絡が取れる体制があり常に情報共有ができた。
- ③クラブ内や送迎バスの換気と消毒を継続し行う。
- →室内や送迎車両は常に窓を開け換気を行った、食後やおやつ、学習に使用した机はアルコ ールで消毒を行った。
- ④マスクの見直しについては個々の体調確認やその環境により判断をする。
- →マスクの着用については 5 類への移行後は個々で判断し着用している、デイサービスの 交流時はマスク着用し参加した。

4. 行事·活動等

(行事・イベント内容及び参加人数)

• • • •		
4月	園外活動 沖縄県県総合運動公園 (1日)	13 名
	園外活動 美東公園 (8日)	16名
	諸見小学校訪問 職員顔合わせ (20日)	1名
	室川小学校訪問 職員顔合わせ (27日)	1名
	デイサービス交流 「新一年生お披露目会」(27 日)	13 名

5月	デイサービス交流「母の日会」 (13 日)	17名
	園外活動 「美東公園」 (13 日)	17 名
	園外活動 「県総合運動公園」 (20日)	15 名
6月	園外活動 「若夏公園」 (3日)	15 名
	園外活動 一番街 「琉球キングスメダル贈呈式」(10日)	7名
	デイサービス交流会 「父の日会」 (16 日)	15 名
	園外活動 「県総合運動公園」 (24 日)	15 名
7月	園外活動 「八重島公園」 (19日)	19 名
	園外活動 「美東公園」 (29 日)	12 名
8月	園外活動 「県総合運動公園」 (12 日)	15 名
	園外活動 遠足 「ビオスの丘」 (15日)	41 名
	デイサービス交流 「夏まつり」 (16 日)	32 名
	園外活動 「諸見里公園」 (14 日)	14名
	防災避難訓練 (21 日)	36 名
	デイサービス交流 「旧盆エイサー」(29 日)	10名
9月	園外活動 「八重島公園 」 (1日)	19 名
	デイサービス交流「敬老会」 (19 日)	32名
10 月	園外活動 「こどもの国」沖縄県県総合運動公園 (7日)	15 名
	デイサービス交流 「運動会」 (10 日)	10 名
	園外活動 「コザ運動公園」 (21日)	14 名
	園外活動 一番街「ハロウィン祭り」(28日)	31 名
	デイサービス交流 「ハロウィン祭り」(28日)	31 名
11月	園外活動 「安慶田公園」 (18日)	17 名
12 月	園外活動 「コザ運動公園」 (9日)	13 名
	デイサービス交流 「クリスマス会」 (26 日)	16 名
	防犯(不審者)訓練 (26日)	36 名
	お楽しみ会 (28 日)	36 名
1月	デイサービス交流 「新年会」 (4日)	10名
	園外活動 一番街 「センター自治会餅つき」(20日)	11名
2月	園外活動 「美東公園」 (3日)	16名
	デイサービス交流 「節分・豆まき」 (3 日)	16名
	園外活動 「アラハ公園」 (17日)	13名
	デイサービス交流 「誕生会」 (20 日)	10名
<u></u>	園外活動 「諸見里公園」 (24日)	16名

3月	保護者説明会	(6 日)	10 名
	学童畑 「じゃがいも収穫」	(11 目)	13名
	防災避難訓練(デイサービス合同訓練	(12 目)	8名
	デイサービス交流 「誕生会」	(20 目)	10 名
	園外活動 「諸見里公園」	(24 日)	16名
	裏庭 カレーパーティー・お別れ会	(22 目)	38名

(職員研修、勉強会等)

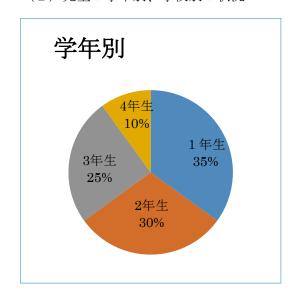
月	場所	研修・勉強会名	参加人数
5月3日	学童クラブ (リモート)	障害児担当研修「支援者・保護者両方の立場から考える	1名
		子ども理解と保護者支援について」	
7月5日	学童クラブ (リモート)	障害児担当研修「発達に偏りがある子への支援」	2名
11月4日	沖縄市民会館	安全運転管理者講習会	1名
10月19日	学童クラブ (リモート)	全職員対象「学童クラブにおける送迎時の安全対策」	7名
12月22日	学童クラブ (リモート)	キャリアアップ研修「学童クラブにおける安全対策」	3名
1月16日	学童クラブ (リモート)	キャリアアップ研修「学童クラブにおける防災対策」	2名
2月20日	沖縄市民会館(中ホール)	キャリアアップ研修「学童クラブにおける防災対策」	2名

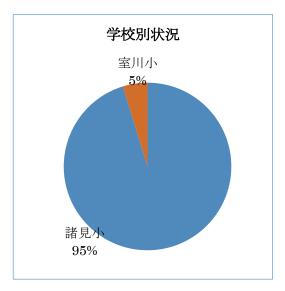
5. 利用状況について

(1) 年間実績(利用日数)

開所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2 月	3 月
日数	24 日	24 日	25 日	25 日	26 日	24 日	25 日	24 日	26 日	23 日	23 日	25 日
小1	14	14	14	15	15	15	15	15	15	14	14	14
小 2	15	15	15	14	14	114	14	14	13	13	13	13
小 3	11	11	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10
小 4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4
小 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	45	45	45	44	44	43	43	43	42	41	41	41

(2) 児童の学年別、学校別の状況





(3)入・退園状況

	入会	退会								
	小学生	クラブ活動	家庭保育	習い事	その他	計				
4月	45	0	0	0	0	0				
5 月	0	0	0	0	0	0				
6 月	0	1	0	0	0	1				
7月	0	0	0	0	1	1				
8月	0	0	0	0	0	2				
9月	0	1	1	0	0	0				
10 月	0	0	0	0	0	0				
11 月	0	0	0	0	0	0				
12 月	0	0	0	0	0	0				
1月	0	0	0	0	0	0				
2月	0	0	0	0	0	0				
3 月	0	0	0	0	0	0				
合計	45	2	1	0	1	4				

ケアハウスはいびすかす

ケアハウスはいびすかす 事業報告

1. 総括

年度を通して退去者や入院者が相次いだ。退去者は、平均年齢 91 歳、平均要介護度 4 の 方々17 名。内 10 名(看取り 2 名含む)が死去。他 3 名は、家族の希望等により介護老人福祉施設緑樹苑に入居調整を行った。在宅復帰者は 1 名。入院者は様々な症状で月平均 5 名が入院した。その結果、稼働率は落ち込み機会損失は約 14,000 千円以上となった。また前年度申請したコロナ体制維持補助金 11,000 千円を取得した。

感染予防で8月後半から11月初旬にかけて、職員の抗原検査を週2回実施し、沖縄県抗原検査キット配送事務局へ報告できた。12月には、県内のコロナ感染者減少傾向を受け、一定のルールを設け面会制限を解除した。令和6年1月25日から2月11日迄、利用者7名・職員6名が新型コロナウィルス感染症に罹患した。職員採用は、ハローワーク・求人誌・人材紹介・職員紹介で14名(非常勤含む)を採用できたが、退職者は13名(内6名は体調不良)となった。

2. 事業実績

稼働率 92.2% (前年度 94.7%)

3. 実施内容

- (1) 利用者サービス
- ①集団活動や個別機能訓練を実施し身体機能の維持に努める。
- ⇒実施。人員不足を補う為、インターネットとテレビ画面を利用し、体操動画を活用した体操が主になった。
- ②週3回の入浴実施で身体の衛生保持に努める。
- ⇒実施。人員不足や急な欠勤、利用者の体調不良、拒否などにより週2回の週もあった。
- ③食後の口腔ケアで清潔を保ち、誤嚥性肺炎の予防に努める。
- ⇒実施。食後の口腔ケアを行った。
- ④利用者の状態に応じ、本人やご家族様の協力も得ながら、訪問診療や訪問看護を利用し状態の変化に迅速に対応する。
- ⇒実施。複数の利用者が、北谷病院所属の医師から月1回状態を診てもらった。状態が思わしくない利用者は、訪問看護職員が訪問し状態を確認した。
- ⑤四季の食材を取り入れた、色彩豊かな美味しい食事を提供する。
- ⇒実施。琉球料理の白いか汁を提供するなど、普段食さない献立に取り組めた。
- ⑥利用者の状態や嗜好調査等を確認し、工夫した食事を提供する。
- ⇒実施。4月の嗜好調査を実施。その結果を、献立や敬老会等の行事食に反映できた。
- ⑦ご家族様などとの面会や外出は、マスクを着用し実施する。又、帰所時は手指の消毒を実

施する。

⇒実施。4月から面会方法を緩和し居室での面会も可能としたが、再度沖縄県の新型コロナウィルス感染者数が増加傾向となり、7月11日からガラス越し面会に切り替えた。感染対策員会にて、コロナ感染者数が5週連続減少している状況を受け、8月21日より1Fロビー及び屋外テーブル等での面会を実施し緩和した。更に、11月感染対策員会にて、コロナ感染者数が8週連続減少している状況を確認後、12月4日より面会制限を解除。

(2) 人材育成と職員採用

- ①新人職員の指導については、役職員が中心になり日課を遂行していく為の業務内容を丁 寧に指導していく。
- ⇒実施。役職員やベテラン職員が、新人職員と同じ勤務時間帯で勤務し、短期間ではあるが マンツーマンで指導できた。
- ②職員は、法人が開講する新人研修等やネット配信研修を活用し、介護技術や知識の習得に 努める。又、無資格者への認知症介護基礎研修受講を実施する。
- ⇒研修委員が先導し、実務者研修1名受講。認知症介護基礎研修は未実施。
- ③初任者研修等や介護福祉士受講などの費用を助成する。
- ⇒初任者研修等は受講者なし。介護福祉士試験に3名が受験し3名が合格した。
- ④職員採用は、ハローワークや求人誌等を活用する。又、職員紹介も募り採用を図る。
- ⇒実施。ハローワーク、沖縄介護・看護転職ナビ、求人誌等を利用者し採用を図り、介護員 14名(職員紹介3名及びパート含む)を採用できた。

(3) 施設整備

- ①ご家族の協力を得ながら、居室の環境整備を実施する。
- ⇒未実施。面会制限期間もありできなかった。
- ②館内外の鉢植えなど実施し、プランターには四季折々の花々を植樹する。
- ⇒実施。利用者が花々をプランターに植え、水やりができた。
- ③業者による保守点検の実施。
- ⇒実施。エレベーター・自動ドア・電気保安等の業者が定期的に点検を行った。
- ④経年劣化に伴う厨房設備・備品等の買い替えを行う。
- ⇒実施。クーラーやトイレ便座の故障や消防設備(非常用照明器具やスプリンクラー等)の 修繕が主だった。

(4) 防災対策

- ①月1回の消防訓練の実施。
- ⇒実施。人員不足で避難誘導ができない場合は、新人職員に消火栓の位置など施設の防火関連の確認を行った。又、沖縄市消防団の訓練に出向き、次年度訓練への参加を呼びかけた。

- ②沖縄市消防本部に消防訓練計画を提出し、年2回の総合訓練の実施。
- ⇒実施。令和5年9月28日と令和6年3月21日に実施。消防職員の立会いはなかった。
- ③BCP (災害発生時における業務継続計画)の策定。
- ⇒実施。BCP(災害発生時における業務継続計画)を策定した。

(5) 感染対策

- ①出勤前の平熱の確認及び手指消毒の実施。
- ②ワンケアワンプッシュを実施しケアにあたる。
- ③手すり・テーブル・エレベーター等の消毒の実施。
- ⇒上記①②③実施。総括、出勤前に平熱を確認し体温チェック表に記載した。ケア前やケア 後は、手指の消毒に努めた。テーブル等は食後アルコール液で拭き取った。
- ④インフルエンザ等のワクチン接種の推進。
- ⇒実施。※接種の推進は利用者のインフルエンザ予防接種者は 50 名中 38 名。コロナワク 接種者は 50 名中 28 名。
- ⑤新型コロナウィルス感染症などは、行政の指針に基づき対応する。
- ⇒実施。北谷病院ドクターの協力を得て、施設内で新型コロナワクチン 7 回目の集団接種ができた。
- ⑥感染予防具の備蓄確保。
- ⇒実施。マスク・ガウン・手袋・フェイスシールドを切らさぬよう確保できた。
- ⑦BCP(感染症発生時における業務継続計画)の策定。
- ⇒実施。BCP(感染症発生時における業務継続計画)を策定した。

(6) 委員会

月日	場所	会議・勉強会	参加人数
4月3日	はいびすかす	給食会議(嗜好調査結果)	
4月17日	はいびすかす	入居検討会議	6名
5月3日	はいびすかす	身体拘束適正化検討委員会	7名
5月3日	はいびすかす	入居検討会議	5名
6月28日	はいびすかす	入居検討会議	6名
6月30日	はいびすかす	給食会議	8名
8月25日	はいびすかす	身体拘束適正化検討委員会	4名
8月25日	はいびすかす	入居検討会議	5名
9月7日	はいびすかす	入居検討会議	5名
9月19日	はいびすかす	入居検討委員会	5名

	1	1	
9月20日	はいびすかす	入居検討委員会	5名
9月27日	はいびすかす	入居検討委員会	5名
9月28日	はいびすかす	防災委員会	4名
10月4日	はいびすかす	身体拘束適正化検討委員会	4名
10月4日	はいびすかす	研修委員会	6名
10月13日	はいびすかす	身体拘束適正化検討委員会	6名
10月17日	はいびすかす	入居検討会議	6名
10月20日	はいびすかす	身体拘束適正化検討委員会	6名
10月23日	はいびすかす	入居検討会議	6名
11月3日	はいびすかす	入居検討会議	6名
11月14日	はいびすかす	身体拘束適正化検討委員会	6名
11月29日	はいびすかす	入居検討会議	6名
12月5日	はいびすかす	入居検討会議	7名
12月6日	はいびすかす	感染委員会	5名
12月8日	はいびすかす	研修委員会	5名
12月9日	はいびすかす	褥瘡委員会	5名
12月19日	はいびすかす	入居検討会議	6名
12月27日	はいびすかす	リスクマネジメント・事故防止委員会	5名
1月24日	はいびすかす	感染委員会	8名
2月13日	はいびすかす	身体拘束適正化検討委員会	3名
2月14日	はいびすかす	入居検討会議	6名
2月16日	はいびすかす	感染委員会	8名
2月22日	はいびすかす	褥瘡委員会	4名
2月29日	はいびすかす	褥瘡委員会	4名
3月5日	はいびすかす	入居検討会議	5名
3月21日	はいびすかす	防災委員会	5名
3月25日	はいびすかす	感染委員会	5名
3月25日	はいびすかす	身体拘束適正化検討委員会	5名

(7) その他

- ・地域包括支援センター西部北主導の、『ろ・は・す』(高齢者サロン) に、地域住民の憩い の場として 1F 会議室を開放できた。
- ・夜間救急時、職員の負担軽減の為、夜間オンコールサービスを活用した。
- ・科学的介護加算や個別機能訓練加算取得に向けたデータ入力に取り組めた。

入退去状况 (単位:人)

		入居				退去		
	在宅	施設	計	死亡	医療機関	他施設	居宅	計
4月	2	0	2	2	1	1	0	4
5月	1	0	1	0	0	1	0	1
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	2	0	2	1	1	1	0	3
8月	0	0	0	1	0	0	0	1
9月	1	1	2	0	0	0	0	0
10月	2	0	2	1	1	0	1	3
11月	1	1	2	1	0	1	0	2
12月	1	0	1	2	0	0	0	2
1月	1	1	2	1	0	0	0	1
2月	1	0	1	0	0	1	0	1
3月	2	0	2	0	0	0	0	0
合計	14	3	17	9	3	5	1	18

入居者の性別、年齢別、要介護度別の状況

自立 要支援1 要支援 2 計 令和5年度 総合計 男 男 男 女 女 女 女 65~69歳 70~74歳 75~79歳 80~84歳 85~89歳 90~94歳 95~99歳 100歳以上 計

(単位:人)

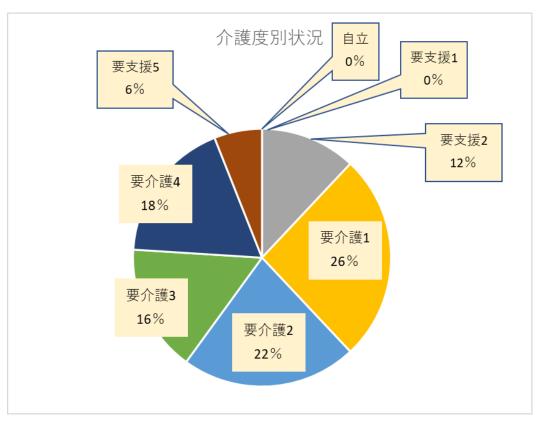
令和5年度	要介	·護1	要介	`護2	要介	`護3	要介	·護4	要介	`護5	Ē	+	総合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
65~69歳	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
70~74歳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
75~79歳	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	2	4	6
80~84歳	1	4	0	3	0	2	0	1	0	1	1	11	12
85~89歳	0	4	0	3	0	0	0	0	1	0	1	7	8
90~94歳	1	1	1	2	0	3	0	2	0	1	2	9	11
95~99歳	0	0	0	0	0	1	0	4	0	0	0	5	5
100歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	10	2	9	0	8	1	8	1	2	7	37	44
平均年齢	84	85	80	85	0	85	75	91	88	85	82	86	86

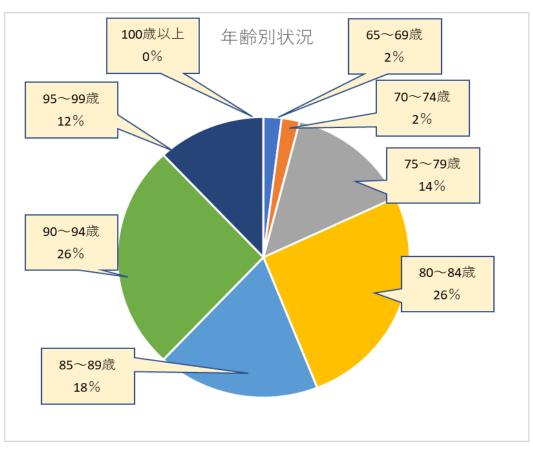
・最高齢 99歳、最小年齢 69歳

·平均年齢:男性82歳、女性87歳、計86歳

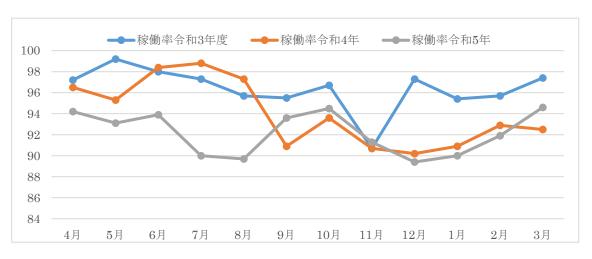
· 平均介護度: 2.3

平均年齢





月間利用入居実績前年度比較



会議・勉強会

五贼 心压五			
月日	場所	会議・勉強会	参加人数
4月25日	はいびすかす	勉強会・身体拘束について〜身体拘束ゼ	2名
26 日	144.0.3 N.3	ロにむけて~	2名
4月27日	はいびすかす	部内会議	9名
8月8日	はいびすかす	3階フロアミーティング	3名
8月14日	はいびすかす	部内会議	9名
8月25日	はいびすかす	4階フロアミーティング	4名
9月17日	はいびすかす	3階フロアミーティング	6名
10月13日	はいびすかす	OJT・~トランスファーボードを使用し た移乗動作の注意点	2名
10月11日	はいびすかす	勉強会・身体拘束について〜身体拘束ゼロにむけて〜	3名
10月17日	はいびすかす	2階フロアミーティング	5名
10月28日	はいびすかす	4階フロアミーティング	4名
11月14日	はいびすかす	部内会議	9名
11月22日	はいびすかす	4階フロアミーティング	7名
1月17日	はいびすかす	4階フロアミーティング	7名
2月23日	はいびすかす	OJT・新人介護研修~ADL、介助について等~	1名
3月18日	はいびすかす	4階フロアミーティング	7名

研修

的修			
7月18日	沖縄県総合福祉センター	沖縄県老施協「令和5年度 21世紀セミナー」	2名
9月27日~9	東京ビッグサイト	国際行列採用国	0 7
月 28 日	(東京)	国際福祉機器展	2名
11月8日	沖縄市産業交流センター	令和 5 年度「沖縄市高齢者虐待防止講演会」	2名
11月9日	沖縄県立図書館	令和 5 年度沖縄県高齢者権利擁護研修 会	1名
11月11日	沖縄県社会福祉協議 会	令和 5 年度 沖縄県老人福祉施設研究 大会	2名
11月29日	ホシザキ沖縄本社	嚥下調整食セミナー	2名
11月29日~	長良川国際会議場	全国老人福祉施設大会・研修会議~J	. 4
11月30日	(岐阜県)	SフェスティバルIN岐阜~	1名
11月30日	沖縄県産業支援センター	食物アレルギー研修会	2名
12月5日	沖縄コンベンション センター会議場 B 1	過労死等防止対策推進シンポジウム	1名
12月13日~	ビジョンセンター田	社会福祉法人 経営塾	1名
12月14日	町(東京)	上云 田田仏八	1 47
12月19日	浦添市社会福祉セン ター	令和 5 年度 福祉サービスに関する苦 情解決セミナー	1名
12月19日~	D 'C COILADE	田種防水管理老護羽	1 夕
12月20日	P 'S SQUARE	甲種防火管理者講習	1名
2月13日	P 'S SQUARE	令和 5 年度 社会福祉施設等における 災害時業務継続計画 (BCP) 策定推進研 修会	1名

行事実施状況

11 1 2 11 - 11 11 -		
月	行事・イベント名	参加人数
4 🖽	ミニドライブ (20 日)	9名
4 月	散髪(26 日・27 日)	21 名
~ □	母の日会(12日)	44 名
5月	散髪(24 日)	8名
С. П	父の日プレゼント贈呈(21日)	13 名
6月	散髪(28 日・29 日)	19名
7月	散髪(26 日・27 日)	14 名
8月	散髪(23 日)	10 名
		2階16名
	敬老会(14 日)	3階15名
9月		4階15名
	散髪(27 日・28 日)	16 名
	消防訓練(28日)	39 名
10 日	散髪(25 日・26 日)	17 名
10 月	運動会(27 日)	48 名
11 月	散髪 (22 日・23 日)	15 人
	ミニドライブ (12 日)	5名
12 月	クリスマス忘年会(20 日)	44 名
	散髪 (27 日・28 日)	26 名
	書初め大会(5 日)	6名
1月	初詣(12 日)	10 名
	散髪(24 日・25 日)	15 名
2月	散髪 (28 日・29 日)	19 名
о Н	消防訓練(21日)	42 名
3 月	散髪(27 日)	14 名

レク活動

クラブ名	回数	参加人数(1回あたり)
ミニシアター	21	15名
おやつ会	15	10名

ケアハウスていんさぐぬ花

ケアハウスていんさぐぬ花 事業報告

1. 総括

利用者サービスは、日々の体操やレク活動、口腔ケア、入浴の実施で身体の清潔の保持に努めた。利用者 1 名インフルエンザ感染があった。新型コロナウィルス感染者が利用者名、入院先での 1 名感染があった。令和 5 年 7 月 14 日~7 月 31 日の期間、施設内コロナ感染症のクラスターとなり、法人・行政機関及び医療機関等からの助言指示、緊急時の入院調整等あり、利用者 29 名コロナ感染の為隔離療養となった。職員 15 名も陽性、その為他職員にて超勤対応等負担増が生じた。職員については PCR 検査及び抗原検査を実施し健康観察を行った。関係機関と連携し情報の共有及び備蓄の確保に努めた。

面会制限中は、ガラス越し面会やビデオ通話(県内外)を行い、コロナ感染症5類移行後、12月1日より居室内面会を実施、ご家族の3名以上人数が多い場合は1階リハビリ室での面会の対応とした。また、ご家族に敬老会等のアルバム写真を送付し、利用者の生活状況や心身の状態について家族への情報提供に努めた。

各医療機関医師と連携し、1名の看取りに取り組む事ができた。

2. 運営状況

毎月1日付け定員50名(内2名は自立)は維持できた。入退去相談は、一人暮らしが困難な方やご家族で介護する事が困難な方などを優先に入居に繋げた。又、入院し継続して治療が必要で退院の目途がつかない利用者や、法人の他施設等への移転を希望されている利用者については、各関係機関と連携し本人や家族の意向に添うよう対応に努めた。

稼働率については95.5%となり、前年度実績96.0%を下回った。要因として施設・居室内(77%)での転倒・尻もち(85%)等、転倒事故(骨折)が9件となり利用者の入院が続き稼働率の低下に繋がった。人感センサー等増設し、日々の利用者の生活状況を把握確認し多職種連携にて転倒予防に努めた。

行事等については、各フロア別々での実施が主となったが、敬老会では利用者の方々が余興等楽しみながらお祝いできた。12 月以降は合同の行事開催を行い、利用者同士の交流も喜ばれた。また、誕生日祝いを希望するご家族と利用者へ1階リハビリ室を提供した。

人員については、介護員4名(正規3名、パート1名)の退職があり、求人活動に努めた が介護員(正規)の採用は2名、パート介護員3名を採用できた。(内2名は職員紹介)

3. 事業実績

稼働率 95.5% (目標 97.5%、前年度実績 96.0%)

4. 事業状況

(1) 利用者サービス

①機能訓練とレク活動

身体機能維持の為、個別機能訓練計画に基づいた訓練や日々体操を中心とした集団活動 及びトランプや脳トレパズル、手工芸、カラオケ等の個別活動を実施する。毎月の誕生会及 び季節行事の開催、屋上庭園(季節の草花)にてリフレッシュを図る。

結果→個別機能訓練、集団体操、レク活動実施。脳トレグッズ等作成し、個別での脳トレ、 グループでのトランプやオセロ、箱作り、塗り絵等実施。誕生会・季節の行事実施。屋上庭 園での散歩等は実施できず。リハビリで苑外を散歩兼ねて歩行訓練等実施。12 月以降の行 事は、全体での開催ができた。

②ICT の活用

タブレット端末で記録の充実を図る。状態の変化には、人感センサーや介護ロボット等を 活用し事故防止を図る。

結果⇒タブレット活用しレク活動や研修・会議等に活用した。人感センサーや床センサーを活用し転倒予防に繋げた。利用者の状態把握、多職種連携し情報共有したが、ヒヤリハット・24件、転倒21件(9件損害補償)、転落1件、尻もち・50件、打撲1件・剥離・1件、意識消失・1件となった。速やかにご家族及び各関係機関・市町村等へ報告できた。

③衛生の保持

入浴や清拭等、口腔ケアの実施。歯科衛生士を講師に招き口腔ケアの指導を受け誤嚥性肺炎や窒息等の防止に努める。

結果→入浴や清拭について、週3回から週2回となる場合(人員対応不十分等)があり、ご家族へ都度説明した。また皮膚状態把握及び、皮膚症状ある場合は受診し悪化を防いだ。歯科医師及び歯科衛生士の診療の際、口腔衛生の重要性の指導及び説明等あり、肺炎予防等について職員の意識向上へ繋がった。重度の方は個別に吸引器等活用しながら誤嚥性肺炎防止に努めた。歯科衛生士による研修は未実施。

④救急搬送と看取り介護

重篤な状態は早期に適切な応急処置(心肺蘇生法・AEDの活用等)を施し、早期受診し状態が悪化しないように努める。看取り介護については、利用者・ご家族と十分話し合い、訪問診療や訪問看護、各医療機関と連携し、人生の最終段階のサポートに取り組む。

結果→重篤な状態は看護師及び病院の地域連携室を通して急性期病院へ搬送を実施。※2名・AED実施。看取りケアについては、主治医(訪問診療)と訪問看護と連携し最期まで、ご家族と相談しながら看取りできた。(1名)24時間医療相談・夜間オンコール代行サービスを活用し、利用者サービスの向上、職員の意識改革、介護負担軽減、離職防止に努めると共に勉強会を実施しオンコールサービス利用の周知を図った。

(2) 新型コロナウィルス等の感染対策

- ①感染対策マニュアルに基づき、マスク・手袋・フェイスシールド・ガウン着用・アルコールによる手指消毒等の標準感染予防策を周知徹底し、テーブルやエレベーター等の消毒、換気を実施。
- 結果⇒実施。施設内の消毒・換気等を継続的に実施してきたが、7月中旬から8月前半までの期間コロナクラスターとなる。法人や医療機関等の援助あり収束することができた。利用者の体調の変化に十分注意しながら日々の経過を記録し、主治医及びご家族へ報告できた。
- ②出勤前、自宅で平熱を確認。出勤時及び休憩後の平熱を確認しフェイスシールド・マスク 等及び携帯ボトル(消毒液)を着用し就労する。発熱、咳、頭痛、鼻水等症状がある場合 は、上司と情報共有し業務調整を図る。
- 結果→平熱確認した場合はマスク着用し就業。職員は勤務中 2 回の検温を実施し健康状態の把握、定期的なPCR検査及び抗原検査を実施した。
- ③面会時、来訪者届の記載及び平熱等確認。
- 結果⇒来訪者届の記載及び平熱等確認し記録することで面会を実施した。
- ④利用者及び職員の健康診断の実施。
- 結果⇒実施。利用者健康診断(42名)・12月1日
- ⑤行政と連携しPCR 検査、自施設での抗原検査、新型コロナウイルスワクチン予防接種の実施。
- 結果→コロナ PCR 検査実施。(沖縄県) 自施設での抗原検査及び、職員へ抗原検査キット配布し自宅でも検査実施。市役所・コロナワクチン課及び中頭病院と連携し、コロナワクチン予防接種実施。
- ·7月6日(利用者44名) ·11月21日(利用者45名)
- ⑥インフルエンザ予防接種の実施。 結果⇒実施。※罹患者(利用者1名、職員2名)
- ⑦感染予防具、消毒液等備蓄品等の確保。結果→確保済み。
- ⑧感染症対策委員会で、感染予防についての情報を共有し、迅速・適切な対応を図る。クラスターとなった場合、職員の確保と対応についても情報を共有し、法人・県及び各関係機

関との情報共有を図る。

結果→7月にコロナクラスター(利用者 29 名、職員 15 名)発生。沖縄県中部保健所及び法人と情報共有し、法人施設から感染予防具等の提供を受け、医療機関とも連携し収束を図った。

⑨沖縄県が蔓延防止等を宣言した場合は面会を制限し、電話やビデオ通話、1F 事務所前で窓ガラス越しもしくはアクリル板越しでの面会を実施する。

結果→感染症状 5 類移行後は、令和 5 年 12 月 1 日より居室内での面会を開始。継続中。

⑩感染症対応事業継続計画(感染症発生時及び拡大時(クラスター)における) BCP の策定及び、訓練の実施。

結果⇒感染症対応事業継続計画を作成した。訓練は未実施。

(3) 防災対策

①月1回の防災訓練(DVD 視聴を含む)を実施。

結果⇒人員不足により主に消防訓練の動画をみながら実施することが多かった。

②年2回の沖縄市消防本部立ち合いの防災訓練を実施。 結果→未実施。

③食料備蓄3日分の確保。

結果→確保済み。

④地域防災訓練への参加。(沖縄市防災訓練、自治会等)結果⇒人員不足の為、不参加。

⑤自然災害事業継続計画(地震、台風、津波、水害、火災等災害発生時における)BCP の策定及び、訓練の実施。

結果⇒自然災害事業継続計画を作成済した。訓練は未実施。

(4) 人材育成と採用

サービスの質の向上を目指し、以下の研修等を実施する。

①ネット配信研修システム等を活用した施設内研修及び勉強会の実施。

勉強会:第2月曜日

施設内研修:第3月曜日

内容

・身体拘束・虐待防止・権利擁護・感染症予防対策及び訓練・事故防止・KYT・5S・認知症ケア・看取りケア・メンタルヘルス・防災・消防機器の取扱い・リフト車取扱い、緊急時対応・AED、契約書・重要事項説明書等)。

結果→緊急時対応・AEDについて、排泄ケアについて、リフト車取り扱い、介護機器取り扱い、施設における感染症対策について、介護機器について、施設における感染症予防対策について、排泄ケアについて、福祉用具(移乗機器、スライディングボード)について、事業計画、アクションプラン 2027 について、契約書、重要事項説明書等について説明実施。動画視聴及び、業者担当者・講師を招いて感染症対策、排泄ケア、福祉用具、AEDについて詳しく学んだ。

- ・新人研修・中堅職員研修・管理職研修 結果⇒未実施
- ②介護福祉士実務者研修等(初任者研修、実務者研修、他)、費用を助成する。 法人本部講習にて介護職員実務者研修(1名)、実施。介護職員初任者研修(1名)、主任 介護支援専門員研修(1名)等、実施。
- ③施設外研修への参加。

沖縄県社会福祉協議会や全国老人福祉施設研究会議、沖縄県や沖縄市、法人等が主催する研修へ参加。

結果⇒・国際福祉機器展・東京都(1名)・9/27~9/28

- ·全国老人福祉施設研究大会・岐阜県(1名)・11/29~11/30
- ・社会福祉法人経営塾・東京都 (1名)・12/13~12/14
- ④ハローワーク及び求人情報誌、横断幕等の活用及び職員紹介等で雇用を図る。又、必要な時間帯のパート採用で見守りが充実した利用者サービスを提供する。

結果⇒採用について・・・介護職(フル2名、パート3名) ※パート2名職員紹介(看護職フル1名、異動1名配属)介護支援専門員(1名)

結果→退職について・・・介護職(フル・4名、パート・1名) ※フル 2名・定年退職。 看護職(フル・2名)介護支援専門員(1名)

※介護パート採用後、9 時 00 分~18 時 30 分の時間帯のケアが確保でき、介護職員の超過 勤務の軽減、介護負担軽減に繋がった。

(5) 設備管理、備品及び環境の整備

①設備の定期点検や施設内外環境整備等を実施。

結果→建物検査(12/18)、電気設備点検、消防設備点検、昇降機点検、貯水槽清掃及び水質 検査実施。衛生消毒・害虫駆除、居室等及び共用部エアコン等清掃実施し安全管理に努めた。

(6) 経費削減

①物価及びエネルギー価格高騰の為、委員会にて経費削減できる箇所を検討し、職員の意 識を高め経費削減について周知を図る。

結果⇒水道の出しっぱなしのないよう居室洗面所の見廻り実施。クーラーの適正温度確認。照明器具の適切な使用に努め、LED照明(トイレ、居室入口)移行に努めた。福祉用具レンタルの見直しにて用具台数返却、車いすの軽微な修繕(フットレスト、ブレーキ修理、タイヤ交換等)実施。

(7) リスクマネジメント

- ①身体拘束及び虐待を行わない。
 - 結果⇒身体拘束なし。
- ②事故及びヒヤリハットが生じた場合、多職種連携にて分析し再発防止に努め、ご家族へ経 緯・説明等、迅速・丁寧に行う。
- 結果⇒事故(骨折・9名)※損害補償対応。

尻餅 50 件、転倒 21 件、転落 1 件。 ヒヤリハット 24 件。

③要望や苦情は丁寧に聞き取り、予防及び対策等の対応を迅速に行う。

結果⇒利用者への暴言や不適切なケアについてご家族から苦情があり、介護員の対応に不適切な対応が発生した。法人本部へ報告し苦情受付にてご家族へ状況及び経緯を説明し謝罪を行った。今回の苦情内容を踏まえて、全職員へケアについて本人の意思を尊重し誠意をもって対応することを周知し、ご家族と常に情報共有を図り相談し利用者及び家族の精神的・身体的負担軽減に繋げた。また、虐待防止について改善に向け協議し防止策を周知した。

- ④急変時や災害時の初動は迅速に行う。
 - 結果⇒実施。急変時は、主治医及び急性期病院・地域医療連携室へ連絡調整し搬送、ご家族への報告も迅速に対応できた。また災害・台風接近時は、早めの対策を講じ被害のないよう準備できた。
- ⑤職員のメンタルヘルス対策について、身体面、精神面の負担等について相談及び助言等実施し、ストレスチェックを活用し離職防止及び、笑顔で働きやすい職場環境の改善を図る。 結果→安全衛生委員会と連携し、ストレスチェック及び産業医との面談実施。職員間のコミュニケーション不足等、個別面談にて気聞き取りし解決にむけ助言等実施。朝礼では、経営理念を確認・再認識し内容について取り組めるよう職員へ浸透を図り、『笑顔』『あいさつ』『思いやり』を全職員が把握し実践できるよう促しサービス向上に繋げた。

年間実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月
入居	50名	50名	50名	50名	49名	50名	50名
入院	0名	1名	3名	1名	2名	4名	4名
稼働率	99.7%	98.5%	95.1%	97.6%	97.2%	97.2%	93.7%
月	11月	12 月	1月	2月	3 月	合計	
入居	50 名	50名	50名	50名	50名		599
		_				31 名	
入院	4名	3名	4名	1名	4名		31 名

月間利用入居状況実績前年度比較



入退去状況(単位:人)

		入 居				退去		
	在宅	施設	計	死亡	医療機関	他施設	居宅	計
4 月	1	0	1	0	0	1	0	1
5 月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	2	0	2	0	1	1	0	2
7月	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	3	0	3	1	1	2	0	4
9月	1	0	1	0	0	0	0	0
10月	1	0	1	0	0	1	0	1
11月	1	0	1	2	0	0	0	2
12 月	1	1	2	1	0	0	0	1
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2 月	1	0	1	1	0	0	0	1
3 月	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	11	1	12	5	2	5	0	12

入居者の性別、年齢別、要介護度別の状況(単位:人)

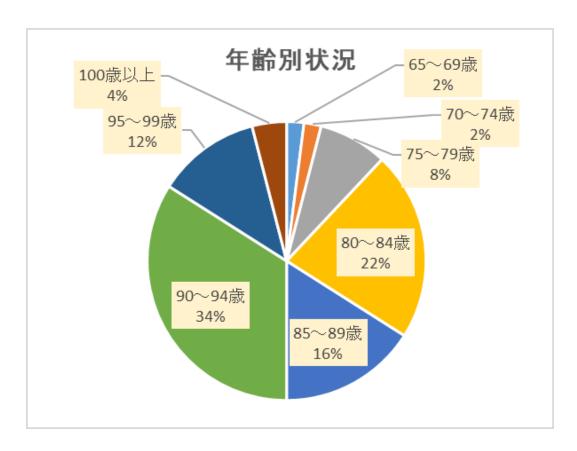
令和5年度	自	<u> </u>	要支	援1	要支	援2	言	+	総合計	
7和3千度	男	女	男	女	男	女	男	女	称5.口.自	
65~69 歳	0	0	0	0	1	0	1	0	1	
70~74 歳	0	0	1	0	0	0	1	0	1	
75~79 歳	0	0	0	0	1	1	1	1	2	
80~84 歳	0	1	0	0	0	0	0	1	1	
85~89 歳	0	0	0	1	2	0	2	1	3	
90~94 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
95~99 歳	0	0	0	0	0	1	0	1	1	
100 歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	1	1	1	4	2	5	4	9	
平均年齢	0	82	74	87	80	85	77	86	81.5	

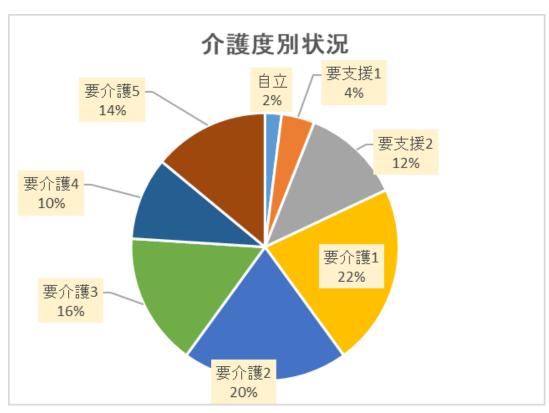
令和5年度	要介	:護1	要介	護 2	要介	護 3	要介	護 4	要介護 5		計		総合計
743年度	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	松口百
65~69 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79 歳	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
80~84 歳	1	2	1	1	0	2	0	1	0	1	2	7	9
85~89 歳	0	0	1	2	0	2	0	1	0	0	1	5	6
90~94 歳	1	4	0	3	0	2	0	2	1	3	2	14	16
95~99 歳	0	2	0	0	0	1	0	1	0	1	0	5	5
100 歳以上	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3	3
計	2	9	3	7	0	8	0	5	1	6	6	35	41
平均年齢	87	90	83	90	0	91	0	90	94	92	88	89	90

・最大年齢 101 歳、最小年齢 69 歳

·平均年齢:男性88歳、女性89歳、計90歳

• 平均介護度: 2.2





会議・勉強会

人数 4月14日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 4月15日 ていんさぐぬ花 感染症の予防及びまん延防止の為の訓練実施について 1名 4月21日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 4月28日 ていんさぐぬ花 3階プロア会議 6名 5月19日 ていんさぐぬ花 2階プロア会議 6名 6月3日 ていんさぐぬ花 2階プロア会議 7名 6月5日 ていんさぐぬ花 2階プロア会議 7名 6月23日 ていんさぐぬ花 3階プロア会議 7名 7月3日 ていんさぐぬ花 7部機器導入説明会 2名 7月10日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 9月12日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 5名 9月19日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 10月26日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 7名 10月27日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 2階プロア会議	月	場所	会議・勉強会	参加
4月15日 ていんさぐぬ花 感染症の予防及びまん延防止の為の訓練実施について 1名 4月21日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 4月28日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 5月19日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 6月3日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 6月5日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 6月23日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 7名 7月3日 ていんさぐぬ花 介護機器導入説明会 2名 7月10日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 9月4日 ていんさぐぬ花 1世任会議 5名 9月19日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 10月27日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 事故防止対策会議 7名 11月7日 はいびすかす 介護機器デモ 12名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名)1	300 171	五哦 旭,压五	人数
4月21日ていんさぐぬ花2階フロア会議6名4月28日ていんさぐぬ花2階フロア会議6名5月19日ていんさぐぬ花施設内会議12名6月3日ていんさぐぬ花施設内会議3名6月5日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名6月16日ていんさぐぬ花3階フロア会議7名7月3日ていんさぐぬ花3階フロア会議3名7月10日ていんさぐぬ花3職種連携会議5名8月1日ていんさぐぬ花多職種連携会議5名8月1日ていんさぐぬ花2階フロア会議5名8月1日ていんさぐぬ花2階フロア会議5名8月1日ていんさぐぬ花全階フロア会議5名9月4日ていんさぐぬ花主任会議5名9月19日ていんさぐぬ花主任会議5名10月26日ていんさぐぬ花主任会議7名10月27日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月6日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月7日はいびすかす介護機器デモ3名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	4月14日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	7名
4月28日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 5月19日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 6月3日 ていんさぐぬ花 施設内会議 12名 6月5日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 6月23日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 7名 7月3日 ていんさぐぬ花 今護機器導入説明会 2名 7月12日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 9月4日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 9月19日 ていんさぐぬ花 転倒対策会議 7名 10月26日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 10月27日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 11月6日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 事故防止対策会議 7名 11月7日 はいびすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器学デモ 12名	4月15日	ていんさぐぬ花	感染症の予防及びまん延防止の為の訓練実施について	1名
5月19日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 12名 6月5日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 6月16日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 6月23日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 7名 7月3日 ていんさぐぬ花 1年任会議 3名 7月10日 ていんさぐぬ花 今職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 4名 9月4日 ていんさぐぬ花 1日任会議 5名 9月19日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 9月19日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 10月26日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 11月6日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 6名 11月6日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 11月7日 はいざすかす 7 護機器デモ 3名 11月17日 はいざすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	4月21日	てぃんさぐぬ花	2階フロア会議	6名
6月3日 ていんさぐぬ花 施設内会議 12名 6月5日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 6月16日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 6月23日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 7名 7月3日 ていんさぐぬ花 介護機器導入説明会 2名 7月12日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 4名 9月4日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 9月19日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 10月26日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 10月27日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 11月6日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 事故防止対策会議 7名 11月7日 はいびすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	4月28日	てぃんさぐぬ花	3階フロア会議	6名
6月5日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 6月16日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 6月23日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 7名 7月3日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 7月10日 ていんさぐぬ花 今職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 ケア会議 4名 9月4日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 9月19日 ていんさぐぬ花 部間対策会議 7名 10月26日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 11月6日 ていんさぐぬ花 主任会議 4名 11月6日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 事故防止対策会議 7名 11月7日 はいびすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	5月19日	てぃんさぐぬ花	2階フロア会議	6名
6月16日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 6月23日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 7名 7月3日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 7月10日 ていんさぐぬ花 今職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 ケア会議 4名 9月4日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 9月12日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 9月19日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 10月26日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 11月6日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 4名 11月6日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 車防比対策会議 7名 11月7日 ていんさぐぬ花 事政防止対策会議 5名 11月17日 はいびすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	6月3日	てぃんさぐぬ花	施設内会議	12名
6月23日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 7名 7月3日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 7月10日 ていんさぐぬ花 分職機事決議 2名 7月12日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 主任会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 9月4日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 9月19日 ていんさぐぬ花 転倒対策会議 7名 10月26日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 11月6日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 4名 11月6日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 11月7日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名 11月7日 はいびすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	6月5日	てぃんさぐぬ花	主任会議	3名
7月3日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 7月10日 ていんさぐぬ花 介護機器導入説明会 2名 7月12日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月11日 ていんさぐぬ花 ケア会議 4名 9月4日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 9月12日 ていんさぐぬ花 転倒対策会議 7名 10月26日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 10月27日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 11月6日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 事故防止対策会議 7名 11月7日 ないがすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	6月16日	てぃんさぐぬ花	2階フロア会議	7名
7月10日 ていんさぐぬ花 介護機器導入説明会 2名 7月12日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 6名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 4名 9月4日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 9月12日 ていんさぐぬ花 事間対策会議 7名 10月26日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 10月27日 ていんさぐぬ花 ま任会議 6名 11月6日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 事故防止対策会議 7名 11月7日 はいびすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	6月23日	てぃんさぐぬ花	3階フロア会議	7名
7月12日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名 8月1日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 8月1日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 6名 8月4日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月11日 ていんさぐぬ花 ケア会議 4名 9月4日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 9月12日 ていんさぐぬ花 転倒対策会議 7名 10月26日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 10月27日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 11月6日 ていんさぐぬ花 主任会議 7名 11月6日 ていんさぐぬ花 事故防止対策会議 7名 11月7日 はいびすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	7月3日	てぃんさぐぬ花	主任会議	3名
8月1日 ていんさぐぬ花 主任会議 3名 8月1日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 6名 8月4日 ていんさぐぬ花 2階フロア会議 5名 8月11日 ていんさぐぬ花 ケア会議 4名 9月4日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 9月12日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 9月19日 ていんさぐぬ花 主任会議 5名 10月26日 ていんさぐぬ花 3階フロア会議 6名 11月6日 ていんさぐぬ花 主任会議 4名 11月6日 ていんさぐぬ花 事故防止対策会議 7名 11月7日 ないびすかす 介護機器デモ 3名 12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	7月10日	てぃんさぐぬ花	介護機器導入説明会	2名
8月1日ていんさぐぬ花多職種連携会議6名8月4日ていんさぐぬ花2階フロア会議5名8月11日ていんさぐぬ花ケア会議4名9月4日ていんさぐぬ花主任会議5名9月12日ていんさぐぬ花転倒対策会議7名10月26日ていんさぐぬ花主任会議5名10月27日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月7日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月7日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	7月12日	てぃんさぐぬ花	多職種連携会議	5名
8月4日ていんさぐぬ花2階フロア会議5名8月11日ていんさぐぬ花ケア会議4名9月4日ていんさぐぬ花主任会議5名9月12日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名9月19日ていんさぐぬ花転倒対策会議7名10月26日ていんさぐぬ花主任会議5名10月27日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月7日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	8月1日	てぃんさぐぬ花	主任会議	3名
8月11日ていんさぐぬ花ケア会議4名9月4日ていんさぐぬ花主任会議5名9月12日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名9月19日ていんさぐぬ花転倒対策会議7名10月26日ていんさぐぬ花主任会議5名10月27日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月7日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	8月1日	てぃんさぐぬ花	多職種連携会議	6名
9月4日ていんさぐぬ花主任会議5名9月12日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名9月19日ていんさぐぬ花転倒対策会議7名10月26日ていんさぐぬ花主任会議5名10月27日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月7日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	8月4日	てぃんさぐぬ花	2階フロア会議	5名
9月12日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名9月19日ていんさぐぬ花転倒対策会議7名10月26日ていんさぐぬ花主任会議5名10月27日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月7日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月7日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	8月11日	てぃんさぐぬ花	ケア会議	4名
9月19日ていんさぐぬ花転倒対策会議7名10月26日ていんさぐぬ花主任会議5名10月27日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月6日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月7日ていんさぐぬ花多職種連携会議5名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	9月4日	てぃんさぐぬ花	主任会議	5名
10月26日ていんさぐぬ花主任会議5名10月27日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月6日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月7日ていんさぐぬ花多職種連携会議5名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	9月12日	てぃんさぐぬ花	3階フロア会議	6名
10月27日ていんさぐぬ花3階フロア会議6名11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月6日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月7日ていんさぐぬ花多職種連携会議5名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	9月19日	てぃんさぐぬ花	転倒対策会議	7名
11月6日ていんさぐぬ花主任会議4名11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月6日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月7日ていんさぐぬ花多職種連携会議5名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	10月26日	てぃんさぐぬ花	主任会議	5名
11月6日ていんさぐぬ花2階フロア会議7名11月6日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月7日ていんさぐぬ花多職種連携会議5名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	10月27日	てぃんさぐぬ花	3階フロア会議	6名
11月6日ていんさぐぬ花事故防止対策会議7名11月7日ていんさぐぬ花多職種連携会議5名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	11月6日	てぃんさぐぬ花	主任会議	4名
11月7日ていんさぐぬ花多職種連携会議5名11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	11月6日	てぃんさぐぬ花	2階フロア会議	7名
11月17日はいびすかす介護機器デモ3名12月4日ていんさぐぬ花介護機器デモ12名	11月6日	てぃんさぐぬ花	事故防止対策会議	7名
12月4日 ていんさぐぬ花 介護機器デモ 12名	11月7日	てぃんさぐぬ花	多職種連携会議	5名
	11月17日	はいびすかす	介護機器デモ	3名
12月4日 ていんさぐぬ花 主任会議 4名	12月4日	ていんさぐぬ花	介護機器デモ	12 名
	12月4日	てぃんさぐぬ花	主任会議	4名
12月14日 てぃんさぐぬ花 2階フロア会議 6名	12月14日	てぃんさぐぬ花	2階フロア会議	6名
12月18日	12月18日	てぃんさぐぬ花	緊急対応・AEDについて	15 名
12月28日 ていんさぐぬ花 多職種連携会議 5名	12月28日	ていんさぐぬ花	多職種連携会議	5名

1月5日	ていんさぐぬ花	主任会議	4名
1月10日	てぃんさぐぬ花	2階フロア会議	6名
1月17日	ていんさぐぬ花	排泄ケアについて	7名
1月26日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	6名
1月26日	ていんさぐぬ花	多職種連携会議	4名
1月30日	ていんさぐぬ花	厨房会議	8名
2月2日	ていんさぐぬ花	主任会議	3名
2月9日	ていんさぐぬ花	介護ソフトデモ	5名
2月16日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	9名
2月21日	ていんさぐぬ花	厨房会議	7名
2月19日	ていんさぐぬ花	施設における感染対策について	12名
2月28日	ていんさぐぬ花	3階フロア会議	8名
3月15日	ていんさぐぬ花	2階フロア会議	9名
3月14日	ていんさぐぬ花	福祉用具について(移乗機器、スライディングボード)	14 名
3月27日	ていんさぐぬ花	厨房会議	7名

研修

日付	場所	研修・勉強会名	参加人数
4月25日	緑樹苑	月次勉強会	1名
5月25日	緑樹苑	月次勉強会	1名
7月24日	はいびすかす	月次勉強会	1名
9月25日	緑樹苑	月次勉強会	1名
10月24日	緑樹苑	月次勉強会	1名
11月24日	緑樹苑	月次勉強会	1名
12月22日	緑樹苑	月次勉強会	1名
1月24日	緑樹苑	月次勉強会	1名
2月22日	緑樹苑	月次勉強会	1名
3月19日	緑樹苑	月次勉強会	1名

安全衛生委員会

日付	場所	会議、研修名	参加 人数
4月20日	緑樹苑	令和5年度委員会について	1名
5月18日	日はいびすかす	令和5年度ストレスチェック実施について	1名
		(施設巡視はいびすかす)	

6月15日	緑樹苑	労基署巡視後の改善事項について	1名
8月17日	緑樹苑	ストレスチェック集団分析結果の見方について	
9月21日	緑樹苑	有休消化について	1名
10月19日	ていんさぐぬ花	ていんさぐぬ花施設巡視	1名
11月16日	緑樹苑	腰痛予防について	1名
12月21日	緑樹苑	特養巡視	1名
1月18日	緑樹苑	働きやすい職場環境について/次年度審議事項(案)	1名
2月15日	緑樹苑	労災について/デイサービス巡視	1名

行事実施状況

月	行事・イベント名	参加人数
	辞令交付式(1日)	2 人
	散髪 (4 日)	25 人
4月	散髪 (5 日)	23 人
	防災訓練(19日)	24 人
	誕生会 (20 日)	6人
	母の日祝い会 (12 日)	50 人
5月	法人監査(15日)	1 人
3 /3	防災訓練(17日)	31 人
	誕生会(18日)	2 人
	誕生会(15 日)	3 人
6月	父の日祝い会(16日)	47 人
	散髪(22 日)	18 人
7月	七夕会 (7日)	46 人
	誕生会(18日)	3 人
8月	散髪(24 日)	22 人
	散髪(25 日)	21 人
9月	誕生会(14 日)	1人
ЭЛ	敬老会(19 日)	48 人
10月	運動会(10日)	47 人
10万	誕生会(19 日)	6人
	散髪(10 日)	18 人
11月	防災訓練(15日)	21 人
117	散髪(15 日)	21 人
	秋のお茶会(19日)	47 人

	利用者健康診断(1日)	42 人
12 月	誕生会(14 日)	2 人
	クリスマス忘年会(22 日)	43 人
	新春お茶会(10日)	45 人
	防災訓練(17日)	23 人
1月	誕生会(18 日)	3 人
	散髪 (25 日)	18 人
	散髪(26 日)	21 人
2 月	誕生会(15 日)	5 人
	ひなまつりお茶会 (5 日)	40 人
3 月	散髪(26 日)	19 人
	定年退職者辞令交付式(29 日)	1人

レク活動

クラブ名	回数	参加人数(1回当たり)
歌声	11	13
映写会	135	12
民舞	21	13
塗り絵	13	14
お茶会	3	44
習字	1	20
輪投げ	7	14
手工芸	8	13
スカッシュボール	3	15
体操	232	13
脳トレ	19	13

5. 各種委員会

日付	場所	会議名	参加人数
4月6日	ていんさぐぬ花	行事委員会	5名
6月23日	ていんさぐぬ花	身体的拘束等適正化検討委員会	5名
7月18日	ていんさぐぬ花	感染対策委員会 (ズーム)	1名
9月19日	ていんさぐぬ花	身体的拘束等適正化検討委員会	5名
11月2日	ていんさぐぬ花	リスクマネジメント委員会	3名
12月1日	ていんさぐぬ花	感染症予防対策委員会	4名

12月1日	ていんさぐぬ花	行事委員会	5名
1月5日	ていんさぐぬ花	行事委員会	5名
1月26日	ていんさぐぬ花	身体的拘束等適正化検討委員会	4名
2月15日	ていんさぐぬ花	虐待防止委員会	5名
2月16日	ていんさぐぬ花	虐待防止委員会	7名
2月27日	ていんさぐぬ花	行事委員会	3名
3月15日	ていんさぐぬ花	虐待防止委員会	6名
3月22日	ていんさぐぬ花	身体的拘束等適正化検討委員会	5名

事故等の状況について

